京城日報

十五日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 (郵送料共)三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 谷口政太郎 京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社 電話(編輯 長二四五番 長二一四番)(營業 川三二六番 長二六三番) 振替貯金口座京城六〇〇番

●美しき尊王心の發揮

江木大禮使次官謹話

帝國臣民が翹首したる御即位の大禮も餘すところ僅かに三日となり七日午後車駕京都に御著滯りなく御所紫裡に入らせ給ふ、恭しく惟るに予は不肖を以て大禮使次官の榮職を辱ふし六日東京御發輦以來京都御所御著迄鹵簿に扈從し奉れるが六日午前六時聖上陛下には東御車寄にて先づ賢所を奉送あらせられたる後次で御順路二重橋を出でさせられ諸民の奉迎送中に鹵簿粛々東京驛に御著輦定刻御發輦沿道庶民の熱誠なる奉送迎を受けさせ給ひつゝ西幸の途に上らせ給ふた、御料の列車には伏見大宮殿下、閑院宮殿下、東伏見宮殿下御陪乘あらせられ宮殿下の御列車に降りて大禮使長官を初め不肖等扈從し申上た、沿道の所感として特に云ふべきはあらざれど何時もながら帝國臣民のかゝるとき美しき尊王心を發揮して山間の僻村磯邊の漁家の區別なく戸々に飜る日章旗の下に立て最と靜粛に最と敬虔に奉迎送せるは眞情無言の裡に流露して殆んど感涙に咽ばんとする程であつた、名古屋御發著に際しては奉迎送者凡そ四十萬人と稱せられたるにも拘らず恰も水を打ちたるが如き靜粛にてかゝるとき多くは人波の起るものなれども些の動搖をさへ見ず實に日本國民の眞髄を發揮したのは嬉しかつた京都御著あらせ給ふや先づ陛下には賢所を奉送あらせられたる後停車場構內の便殿にて御少憩あり後御料の御馬車で御機嫌麗はしく內裏に入らせ給ふた恭しく惟るに聖上陛下には東京御發輦以來些の御疲勞もなく終始國民奉迎奉送の至誠を御嘉賞あらせられ吾等が日夜營々として御準備申上げたる順序も些の滯りなく運むで茲に目出度く京都御所に御安著あらせられたるは誠に恐懼大慶の情に堪へざる次第である(京都特派員發)

●主基殿供饌儀

いとも尊き大嘗祭悠紀殿の御親祭は十四日夜半を以て御滯りなく御終りを告げ陛下には廻立殿にて御小憩の上、再び小忌御湯召されて御祭服を更め給ひ時は早や十五日の午前一時といふ深更より更に主基殿にて曉の御饌を親供せられたり、主基殿供饌の儀は悠紀殿供饌の儀次第と異らず唯主基地方の地方長官は香川縣知事なるを以て若松同縣知事其率ゆる樂官をして地方の風俗歌を奏でしめたるの異るのみ

▲親祭十二時間 而して神さびたる大嘗祭を御滯りなく訖らせられ 聖上陛下が廻立殿に御還り遊ばさるゝ迄十二時間萬事嚴格なる御作法に從はせられて御寸暇なかりしは返すく\も畏き極みなりき

▲聖上御還幸 かくて 聖上陛下は十四日の夜の名殘りなく明け離れし午前五時五十分大嘗宮御出門同六時二十分京都行宮に還幸遊ばされ、豊けき御代の時津風枝を鳴らさず、御苑の樹々を亙り麗かなる十五日の朝暾は祝福と光榮に輝き渡りぬ(京都特電)

歐洲大亂

▲伊對獨交戰狀態に入らん

アンコナ號撃沈は獨逸の所爲

伊國の一內閣員が三四の通信員に語る所に據ればアンコナ號を撃沈せるは獨逸潜航艇なりといふ此れが爲め伊國は宣戰布告無くして獨逸と交戰狀態に入りたるを認むるに至れる可しと(倫敦電報)

▲聯合軍總司令官

情報に據ればジョップル將軍は聯合軍總司令官を委任せられたりと(紐育電報)

▲黒鳩公將軍の出征

羅馬來電に據ればクロパトキン將軍は勃國に向ふ可き露軍五十萬の總司令官たる可しと(紐育電報)

▲吉元帥對希條件提出

ヴエネゼロス派の機關紙パトリス氏は報じて曰くキッチナー元帥は希臘皇帝に謁見し新たなる條件を提出す可しと(倫敦電報)

▲墺獨委員希臘に著す

希臘獨逸の關係を確立するの全權を帶びたる墺獨兩國の委員雅典に來著せり(倫敦電報)

▲東部戰場獨軍薄し

獨帝援軍派遣を拒む

獨兵捕虜の陳述に據れば獨帝は近頃ヒンデンブルグ元帥と會見し如何なる犧牲を拂ふともドウイナ線を突破す可しと主張したるにヒンデンブルグ元帥は然らば援軍を派遣され度しと陳べたるに帝は目下軍隊を割く能はずとて之を拒みたり茲に於て軍事會議の開催となり同元帥は若し飽くまでドウインスクの占領を固執せらるれば余は辭職せんと述べたりと(露都電報)

雜報

●結局無期延期

帝政問題の形勢

▲支那政府の回答 帝政延期の勸告に對して支那政府は該勸告條理ある友誼的のものなるを以て之を拒絶する能はず左りとて內政の關係上直に四國の勸告を容れて帝政の延期を爲す能はず頗る焦慮の體にあるとは既報の如くなるが支那內地の不穩の形勢は增加するとも減ずることなく現に支那の國際的關門たる上海に於て其行政長官たる鎮守使鄭汝成が十日午前街上に於て暗殺せられ加ふるに阿部某なる日本人迄が其卷添を受けたるの事實は歷然たる證據として支那政府の回答に所謂何等不穩の形勢なしとの陳述は根底より覆へされ帝國政府の觀測は全然的中したる次第なるが故に支那政府は到底治安維持の保證を敢てするを能はず頗る狼狽したるが如き模樣なりしが十一日陸外交總長は袁總統の旨を受け日英露佛の四國使臣を外交部に招請し支那政府は國內の治安維持は衷心之れを希望するを以て四國の勸告に接し慎重熟慮したる結果國體變更を暫らく延期すべき旨の意嚮を回答し來れり

▲延期と勸告の精神 而して元來勸告の精神は支那の現狀より見て國體の變更は東洋平和の爲め其時機に非ざるべしと言ふに在るが故に延期の期限を定め或は本年內若くは一箇年間實施を延期すると言ふが如きは勿論勸告の該精神に背戾すものにして帝國政府は固より承諾し得べきに非ず支那政府は現に角此儘國體の變更を延期せば可なるものにして苟しくも事實上四國の勸告に基き延期したる上は今後國體を變更せんと欲せば其場合に至り豫め帝國政府に通告するを要すべく帝國政府は其時の狀勢に從ひ又た自ら其時機なるや否やを判定すべきのみ而かも是れ敢て帝國が支那の內政に干渉するものに非ず一つに極東の平和を顧慮し帝國が其平和を確保せんとするの意に他ならずして支那の現狀は謂はゞ列國の力によりて直接間接其治安を維持する事實多きに居るが故に重大なる內政問題の如きも列國否、少くとも親善なる隣邦として政治經濟上重大なる關係を有する帝國の意嚮を無視することは能はざるは蓋し當然の事なるべし而して之れ等の事實は賢明なる袁總統は萬々承知なるべきを以て結局此儘延期するに至るべき乎若し然らずして多少の期限を定めて延期するが如くんば帝國は勸告の精神に基き既定の方針により帝國の態度を示すの他なきのみ

▲勸告の效果 若し夫れ四國の友誼的勸告が其效果を完全に收めたりや否やは未だ充分の時機に達せずと雖も支那政府が四國の公明正大なる勸告を拒むに由なく唯だ內政の關係より頗る焦慮し延期の意嚮を回答し來れるの事實は現に角或程度迄勸告の結果を現はしたるものにして支那は假令內政問題なりとも國際關係に影響を及ぼすが如き性質のものは極東平和保持の盟主たる帝國を度外視する能はざる事實を知らしめたるものなることは事實なり而かも之を以て帝國現政府の外交成功と認む可からず蓋し此際支那國體變更延期の如きは列國等しく其適當なるを認むるものにして豈に帝國が主動となりて四國協同して勸告を爲すに至りたるも畢竟帝國の勸告精神が時宜に適し而かも此機會に乘じて區々たる利權を得んとするが如き野心を包藏せざる公明正大なるに基くものなると帝國の國威が伸張せられたるの結果たらずんば非ず(京都特派員發)

●明日の賜饌式

及び大典奉祝會注意

十六日景福宮に於て正午十二時より賜饌式一時三十分より御大典奉祝會を舉行するに就ては賜饌式場(勤政殿)受附は正午十二時限りとし必ず參入證を携帶すべく又奉祝宴會場慶會樓受附は同一時三十分限りとし政務總監の案內狀を持參すべく右孰れも遲刻者及び參入證案內狀を持參せざる向は參列するを得ざるべしと

●民間の賜饌者

賜饌を賜はる可き鮮內各地の紳民間名望家は府二名郡一名にして京城府に在りては山口太兵衛、趙鎭泰の兩氏之れが光榮を荷ひ仁川に於ては森常吉、張錫祐の兩氏選拔されたり尙ほ各地の商業會議所會頭、經學院講師、司成、中等以上の私立學校長、判任官三等以下の警察署長、並に面長にも賜饌ある可く又た京畿道內に於ける夫人の饗饌拜載者は李址容夫人、檜垣道長官夫人、淵澤のえ子刀自及び淑明女學校長李貞淑夫人の四名なりと

人事消息

▲入江海平氏(理財課長) 金融經濟狀況調査に平安農工銀行本店新築落成式參列の爲め十七日平安道に出張
▲ビー、ビー、ノラタン氏(米人) 十五日午前釜山より入京朝鮮ホテルへ
▲レートン氏夫妻(米人) 同釜山へ

南言北語

伊國では今度アンコナ號を獨逸の潜航艇に擊沈されたので之れが獨逸に對して無言の宣戰布告になるなんて力んで居る▲巴爾幹へ出兵して獨墺軍と交戰する時擔者は未だ獨逸とは宣戰して居ないから墺軍許りお引き受け申さうでは到底一致の行動が取れない今の內に早く獨逸に宣戰させて置かぬと聯合軍の大不利だ▲不利と云へば伯林から君府迄の鐵道は直通運輸が出來る樣になつたのみならず獨逸は塞國の銅山迄掘つて居る▲早くせぬと手が付けられぬ事になるよと御最負すぢがハラ\/して居るのも馬鹿々々しくなる▲馬鹿々々しいと云へば支那の回答も隨分馬鹿々々しいものだ▲急速には帝政を實行せないが私方の都合によりましては實行致しますとは何の事だ▲急速には實行せぬ今年中には實行せぬでは折角の警告を無視した者だ此方から警告した延期は無期延期だと云ふ事は御存だらう▲而し支那側では唯延期とあつたから御意に從つて今年中は延期したのですと云ふかも知れぬ▲イヤ未だ此方の內閣には議會と云ふ大難關があるから支那では早くも之れに注目して居るかも知れぬテ決して油斷は出來ぬワイ▲十四日夜山縣政務總監が入京中の伊澤前警視總監を始め東拓、鮮銀、諸會社銀行重役、山形大佐、荻田書記官其他總督府側の人々や官民廿人を招いて朝鮮ホテルで晩餐會を開いた▲當夜の獻立は政務總監自の意匠で出來たもので料理は英、露、佛、伊の粹を拔いたもので萬事家族的に仕組まれ各自食いたい丈け手盛りと云ふ次第▲健啖家の爲めには此上なき仕合せで何れも大喜び▲殊に上戸黨には各ウオツカに舌鼓を打たせ兎角に四角になり易き西洋食卓を丸く收められたは流石に畏入つたもので食後總督始め目下京都に滯在の人々に連名記念の書はがきを出すなど何處迄も往屆いた接待に主客十二分の歡を盡した雅會であつたさうな

▲廣告▼

商業登記公告

商號新設 商號 奴屋、營業ノ種類 麻裏草履製造販賣、營業所 京城府本町四丁目百貳拾四番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府櫻井町壹丁目百九番地 鎌田龜次郎
京城電氣株式會社ハ大正四年拾壹月五日目的ヲ左ノ如ク變更シタリ
一、電燈及電力供給
二、電氣鐵道事業
三、瓦斯製造供給及副生物精製販賣
四、前各號ノ事業ニ附帶ノ業務
株式會社共益社取締役西原龜三及監査役田中清吉ハ大正四年拾壹月七日辭任シ同日左記ノ者取締役及監査役ニ當選就任シタリ
京城府忠信洞貳拾七番地取締役田中清吉、京城府忠信洞貳拾七番地取締役竹中多計吉、仁川府外里貳百參拾參番地監査役張錫佑
地番號ノ設定ニ依リ株式會社共益社ハ仁川府本町四丁目六拾八番地ノ支店所在地ヲ仁川府本町四丁目貳番地ト變更シタリ
右大正四年拾壹月拾貳日登記
京城地方法院

土地家屋賣却(價安)

京城南大門通二丁目七番 宅地坪數六十五坪 建坪六十坪
京城長谷川町百十二番 宅地坪數四十五坪 建坪三十二坪
京城長谷川町百〇九番 宅地坪數三十九坪 建坪二十五坪
京城長谷川町百〇五番 宅地坪數八十九坪 建坪六十八坪
京城西小門町三十四番 宅地坪數三十三坪 建坪十七坪
仁川支那町 義生盛本店 電話八一八番

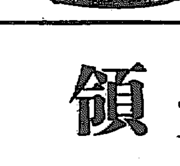
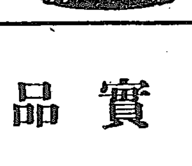
獨學書法直訣

全一冊特價七十錢
本書は我書講研究會講師海岡金圭鎭氏の著術せる學書者の寶鑑なり執筆運筆、點畫法楷、行、草、篆、隸、八分、各體を一々圖解說明し令弟醫學士金台鎭氏は日本文にて翻譯し內地學習者の便利を計れり 會員尹兵壽白
發行所 京城長谷川町古今書畫館
分賣所 平壤水玉洞 箕城寫眞館

實用卷ゲートル

デーチ印 製造販賣
大阪東區南久太郎町四丁目 (見本呈す) 杉山商店 振替大阪一九四一七

醇良清酒

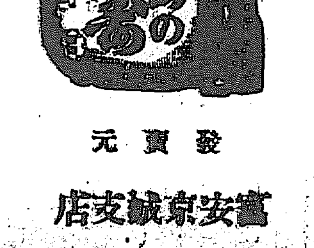


大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

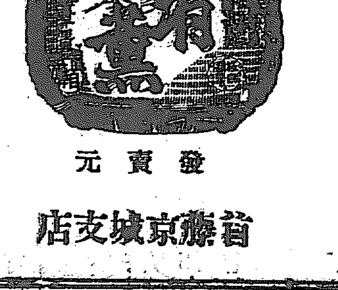
名譽ある一等賞金牌受領

大藏省釀造協會主催
第五回全國酒類品評會に於て

一鶴

發賣元 本莊酒店

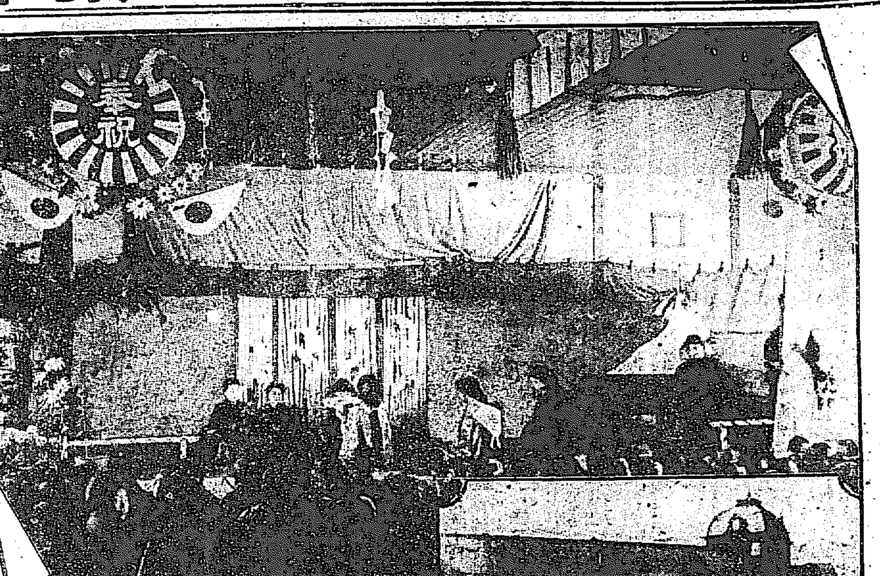

發賣元 富安京城支店

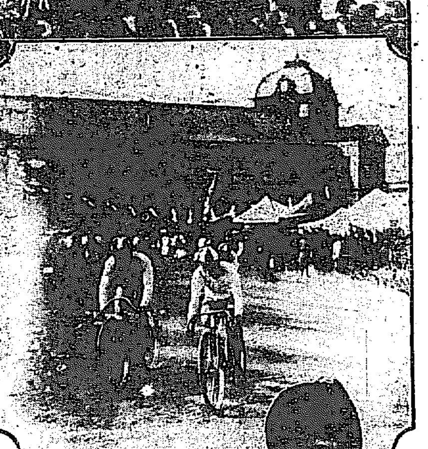

發賣元 首藤京城支店

實力之競爭
品質本位

●歡びの日

人を擧りて祝ぎ奉る此の佳き日





御大典を祝し奉りて今日よりぞ老も若きも市を擧りて歡に醉ひつゝ賑ひの中に暮らす可き十五日は朝來日本晴れの菊日和、京城中の街と言ふ街は悉く國旗と萬歲旛と提灯と注連繩とでお正月が三つも一度に來たやうに輝き亘つてゐる、街には花電車が通る晴衣の人が通る藝者の屋臺が通る滿都破れん許りの大賑ひを呈し午後からの市中は特に一段の景氣を添へた本町通りの各店舖では十日以來引續いてのお祝ひにイルミネーションや飾り窓の店頭裝飾も賑はしく何處の店も御大典景氣の大繁昌でニコ〱ものの樣子であつた、中には店頭に幔幕張つて『謹んで休業』と貼紙した店も見受けたが一般に各學校や銀行やお役所では十六日一日休業し十七日は午前中のみ事務を執る向きが多いやうである、又た花柳界では此の三日間の紋日を出來るだけ華美にお祝ひする計畫で豫て準備の奉祝の催し物が尠からずお客を呼んでゐる

●祝へ〱の大浮れ

大賑ひの自轉車競走

一生一代のお祭日を祝へ〱で浮かれ出した連中は十五日の午過ぎから次第に元氣を添へて來て市內到る處コリヤ〱の大賑ひ、明治町東拓前の廣場では菊日和の空に色とり〱の彩旗翩る下、景氣の好い音樂隊の奏樂に伴れて紅青白の自轉車選手が競走する、周圍の見物人は十重廿重に人垣築いて『ワアイ〱!!』と聲援するやらわめくやら却々の景氣である、競走は午前中豫選を了つて愈よ午後から大競走に移つたが何分京城龍山の大選手が集つた事とて夕刻に至る迄非常な賑ひであつた

●不夜城の光彩

遊廓の『天の岩戸』

は三十二燭の電燈を點置し其他百燭電燈二箇三十二燭都合四箇を取附けてあるから夜は眼眩しき光りが丹青[illegible] [illegible]二時迄一般自由の觀覽に供してゐる、是は二十日迄其儘存置して置[illegible] を謹修し午前八時午後二時午後七時の三連勤式作法に則り[illegible] るべし [illegible]十四日[illegible] 日間毎夜午後六時より九時迄で廓內[illegible]病院前に設られたる舞臺に於て落語[illegible] 典に對し廓內に於ける奉祝餘興も[illegible]かし賑を極むる事なる可し

●博多仁輪加

大和町一丁目

大和町一丁目では例の神崎福太郎氏が『こげん、芽出度い日に、祝はんチウ事あ無か』とて店の若衆始め一味徒黨の博多人を繰り出し抱腹絕倒の『博多二わか』を始めたるが、連中は先づ山縣政務總監邸を始め市中各所で見物人の頤をはづさせヤンヤ〱の大喝采で練り歩いた、殊に美しい櫻花を飾つた屋臺と寶惠籠には神崎氏の息女ふく子君と新町の辻ふき子君の可愛らしい少女を乘せたるなど非常な大歡迎をうけた、連中は猶ほ十六七日兩日も市中を練り歩き到る處で妙技を見せる筈なるが猶ほ十五、十六、十七の三日間は午後五時から元京城日報社裏空地の舞臺で盛んなる博多二輪加筑前琵琶、娘手踊、浪花節などを催す

●中券の大屋臺

美しい仕丁姿

花柳界では十五日一日休業して奉祝する、中券の連中が先頭第一に市中を練り歩いた、屋臺は眞榊樹に神鏡をかけた神々しき白木の社に芽出度い二見ケ浦の日の出と凝つて、先頭には紫色縮緬の大旗三四流と高張提灯を持つた若衆が進み、中券の美形四十餘名は何れも紅色の仕丁姿で繰り出し先づ南山大神宮から新町本町永樂町南大門通りを練り歩いて踊つた

●南山町の舞臺

落語手踊芝居

南山町一二丁目では森勝次氏の邸前に美しい舞臺を設け午後二時より落語手踊、芝居等かず〱の餘興を始めたるが何分にも場所柄とて附近の艶者を始め白酒黑酒の廻つた連中『うまいぞ〱』と許り大賑ひである

●奇拔なる蛇踊

平山牛乳店の『蛇踊』は又當日の白眉としてヤンヤの喝采をうけたもの、踊はむかし支那の使節が來朝した時長崎に傳つたもので何時も御慶事の時に限つて演ずるもの、先づ印度人に扮した十人の黑奴が操る大きな蛇が玉を奪ふと云ふ趣向で樂隊は純支那式の胴鑼笛などを打鳴らすが服裝は特に支那風を印度風に變へたものであつた、踊は朝から東小門外を繰り出し夕方まで市中を練り歩いた

白酒召せ　黑酒召せ（京都にて）

寫眞說明 (上)京城高等女學校奉祝會活人畫(中)明治町の奉祝自轉車競爭(下)中券番藝妓の仕丁姿

●佳き日を笑ひ暮した小女達

女學校の奉祝會 名物十二模擬店

高麗に咲く大和撫子も亦御大典を祝儀まつらんとて十五日午前九時より南山町の高等女學校に於て祝賀會を催しぬ、先づ職員生徒一同講堂に參集して■君ケ代を唱ひ萬歲を三唱して型の如く式を終り其より餘興に移る、祝賀の餘興全部は各級生徒思ひ〱の趣向になれるものにて最初二年竹組の活人畫白菊より始め其より合唱、活人畫、對話等數番あり十分間休憩赤飯の御辨當を談笑の下に喫し更に數番の餘興あり何れも上出來にて拍手大喝采の中に午前の曲目を終り模擬店を開く、此模擬店こそは各學年の生徒中の委員等が數日來工夫を凝して秘密の裡に成りたるものとて何れ劣らぬ趣向をこらし階上階下の十二教室を■模擬店にあて各室には東京京城間の各所々々を現して其名產を饗應する仕組にて先東京は宮城の繪を正面に菊花淸楚たる日比谷公園內で名物川越いものお土產を渡し(二年梅組)次は箱根の離關山北すしの名物あれど『主人上洛のため當司休業』とは落膽々々(一年梅菊組)靜岡は田子の月(四年梅)岐阜は提灯と養老の瀧と、長良川の鵜飼金華山を彼方に眺めながら柿羊羹のお土產が出で(四年竹組)八景亭は琵琶湖畔の絕景を一室に配して堅田の落雁菓子を(四年松組)■京都は御大典の御擧行地とて神殿を築ぎ七五三を張り酒精入らずの白酒を出す(補習科、一年松組)大阪は二つ井戸の粟おこし御幸鳴神社の御籤の中には『貴女は未來吉大臣の妻となるべし』『美服天より降るべし』などあるも女の心を窺はれて可笑し(二年松組)其他岡山名物の吉備だんご(三年竹組)下關の龜甲せんべい(三年松組)等も加へられ對島は一寸休憩所でお茶一ぱい京城の燒栗を貰つて引下れば更らに午後の餘興始まり五百の少女嬉々として今日の佳式の日を壽ぎて午後四時散會せり

只今到著

東宮殿下京都御著

本日より差加へ謹寫仕候　大正館

●海軍將校歡迎

仁川府に於ては十五日午後五時より日進乘組將校を招待し八坂樓に於て開宴し久水府尹は此の間に斡旋し頗る盛大を極めたり

●壽座の總見

壽座開演中の藝術座劇は今十五日夜は『サロメ』を上場し京城券番の總見あり

●今夜の提灯行列

沿道にて盛んに喝采せよ

京城市中六十六校の各官公立學校は內地鮮人生徒を合して數萬人、愈よ十五日夜を期して御大典奉祝の大提灯行列を行ふ、國際中大は東洋協會、京城中學、高等普通學校、醫學專修所、工業傳習所の靑年を始め小は市內各學校生徒普通學校生徒に至るまで男生徒に限り參加する事とて當夜の壯觀は京城未曾有のものである行列は京城全市の夜を火龍の縫ふ如くに進行すべく市內日の出小學校、南大門小學校、校洞普通學校、光化門前の四箇所に集合の上一團から一團と順次に出發し本町あたりにては蜿々里餘に亙る大行列となる唱歌は『同胞すべて七千萬』の莊重なる歌詞を用ゐ內地人小學生は素より各鮮人學校兒童まで一緒に高唱して行進する、總督官邸では山縣政務總監が一同と共に萬歲を奉唱せらるゝ筈にて參加生徒は何れも政務總監からお菓子を貰ふ、解散場所は朝鮮銀行前の大廣場それ共其處からは猶ほ各學校共思ひ〱に行進し京城中學の如きは九時頃までに一應校庭まで歸る筈、兎も角非常な賑ひであらう、又各學校長の談では當日よく御大典の御趣意を繰返し兒童に知らせて一同陛下の萬々歲を奉唱する就ては實に千載一遇の芽出度き祭典であるから提灯行列の如きもなるべく旺んに遣りたい考へ……何分他の時とは異ひますから……と何れも盛んな意氣込みである、猶ほ市中の連中は十七日の夜を待兼ね今夜生徒と共に繰出し度い者が多いやうであるが那麼人達は當夜旺んに沿道から萬歲を高唱する筈にて既に本町通の各商店にては店員一同を狩り集め盛んに鳴物をならし萬々歲を唱へる計畫中の向きもある、京城日報社からも盛んに行列を歡迎する筈、行列と沿道の人とは萬歲の聲相呼應して盛況を呈するであらう

子宮病血の道とヒステリーに惱む人は　神疝湯

彼れ是と迷ふ無く 能く穩かに效く靈藥神疝湯を試みよ現に百方手を盡しても効なき難症の血の道やヒステリーや數年多年不治の子宮病難治の方々が神疝湯の連服で漸次快癒し嬉しさの餘り感謝狀(現在保存す)を一般の閱覽に供すから實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば臆せず試みよ即效と難症の論なく神疝湯は該症の秘方藥なるも今や全國各藥店にあり

●こんな徵候 ●頭、手、足、肩、腰、膝、臀、等がしびれ、又つり、張り、痛み、脹れ ●腹の彼處此處が移動し ●何となく胸がつかへ差込み ●腹張り溜飲 ●食進まず又は下痢又は便秘 ●逆上眼血 ●耳鳴り頭痛 ●寒氣惡く頭重く ●肩凝り ●腹に力なく ●腰足冷え ●夜眠られず ●氣力薄らぎ記憶あしく ●物事に感じ易く ●手足の浮腫 ●子宮病血の道より起る片時も早く此に惱む人は神疝湯を試みよ

價 [illegible]

本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎 電話[illegible] 振替口座[illegible]

七ふく ひゑぐすり

本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし黴毒、痔毒(俗にひゑ、しつ、かさ)胎毒其他皮膚一切の諸病臟腑水腫等によし

價 中週分 七ふく入 金拾五錢 壹週分 十四ふく入 金貳拾五錢 三週分 四十二ふく入 金六拾五錢 五週分 七十ふく入 金壹圓

本家 大阪府津表門筋松屋町四 七ふくや 伊藤長兵衛

秋口の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉劑には殺菌力を有する藥劑ならざる可らず柏村博士のヘルプは此點を考慮し調製せし者なれば他家の藥劑になき殺菌、防腐の作用を具有す

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

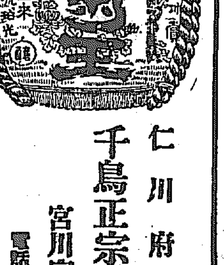
殺菌力絕大なる下痢止腸胃藥

主治効能 ●食傷●食過●時候あたり●水あたり●寢冷●等腸胃の故障より起る■下痢■腹痛■吐瀉■虎列刺を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す ●取次は全國到る處の藥店にあり

本舖 東京日本橋本銀町三 津村敬天堂

泰三殿 片付た居所通知あれ 尾羽吟

奉祝御大典



仁川府 千鳥正宗支店 宮川宗二郎 電話三五九番

小說 貸本業者用御安く致します 講談物新小說大阪版東京版一切揃ふて居ます◎目錄は三錢郵券◎照會は往復端書 大阪市三林橋南入谷町 小說專門卸問屋 [illegible]

共保生命保險株式會社

創立 明治二十八年 資本金 壹百萬圓 保險契約高 四千貳拾萬圓 諸積立金 四百九十萬六千二百六十六圓餘(大正四年九月末日現在)

●吾社の利益配當 吾社は財產の內容極めて安全鞏固にして保險契約者の利益を計り契約後滿五箇年を經過したる契約者に對し毎年利益配當を爲す既に第一回(大正二年度)は五分の配當をなせり吾社の利益配當方法は第一回以後年々累加配當するが故に契約者の爲めには多大の利益あるものなり

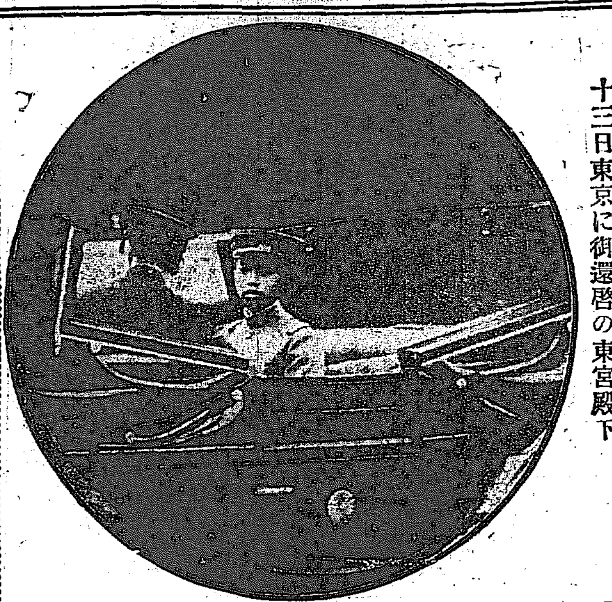
本社 京都市西六條[illegible] 取締役社長 堀貞 取締役 原彌兵衛 取締役 小西新右衛門 監査役 生島嘉藏 取締役 伊藤忠三 取締役 阿部一太郎 取締役支配人 青柳[illegible] 監査役 山口[illegible]

京城出張所 京城府黃金町二丁目 所長 永井新三郎

天氣 晴一時曇 十一月十六日 [illegible]

…大典に因んで神々しき「天の岩戸開」す所業を舞…き」の作物が出來てゐる岩戸の裏に在します天照皇大神御體の後方に…の鳴いてゐる所など見事な出來榮え…である、毎日正午から閉扉し引續き來る十一月十五日夜より二十一日日中まで雁師聖人御忌引上報恩講法要…の拝觀を…のことなれば地方よりの参詣者多か…に於て曾十五日より十七日に至る三…島遊廓は全部演舞する事にて三日間に四十…種類の手踊ある事となりたれば御大…ことに決定したり

…三名出場し内地方五人の外…各官公立學校は十五日及び十六日は一日休業する…行ひたるため十六日は一日休業する



十三日東京に御還啓の東宮殿下

●晴の日を待つ五節の舞姫
何れも清淨無垢の乙女達

大嘗祭の花と呼ばれてゐる五節の舞の清閑寺敏子孃以下七人の舞姫達は十二日の總ざらへを終ると共に十六日の御用が濟むまでは一般の外出を止められ聖上陛下の御前近く舞ふ身體を淨めることになつたそこで、何れの姫達も互ひに申し合せて十三日の朝未だきから冷水で身を淨らかにし、髪はお中姿の『垂髪』として、平常着の衣裳をあらため、成るべく他人と多く應接しないやうにしてゐる、斯うして生れ變つたやうに

▲清淨無垢の乙女 となつた姫達は早や當日の來るのを足爪立て待々つてゐる、八人の舞姫の中五人が舞ひ後の三人が補缺となるのである、誰が補缺になるのか姫達自身でも判らず當日の正午頃いよいよ舞臺に出ると云ふ時に當つて係員の方から眞の舞姫の補缺の人名を發表する豫定となつてゐるさうである聞く處に依れば舞姫は清閑寺歌子、石野和子、山本具子、萩原種子、高倉則子の揃ひも揃ふて背のすらりとして顔の美くしい堂上華族の姫として恥かしからぬ此の五人で舟橋厚子、山本多子、持明院宏子の三人は背の低い結果補缺に廻されてゐるやうである、併し何れの姫達も畏れ多いことであるが女子として必らず見るべき不淨の如きも先づ當日前後にないので診斷の醫者が喜んでゐるばかりでなく親達も非常に滿足して居られる、大饗第一日の十六日は

▲舞姫は午前三時に華族會館京都分館に集合茲にて髪をあらため八時前後を以て一同二條離宮に参集陛下の玉座に當らるべき同書院の裏手即ち二の丸の衣紋所に入る、茲で衣紋方の手にて衣裳を付け時の至ると共に大饗場の豐樂殿に出るのであるが衣紋所から豐樂殿までは約四十間程ある地下室の廊下で衣紋方が一人づゝ裾を持つやうになつてゐる、五人とも一同揃ふて舞臺に出で奏樂に和して舞ふのであるが、舞ふ時間は約二十分間である右に就き舞姫の一人なるお中姿の石野和子は記者に語つて曰く檜扇は普通の檜扇よりもやゝ大きくさうして餘程目方のあるもので、扇面は表は金泥にて雲を極く彩色し裏は蝶鳥の繪が表してあり要にも蝶鳥がついてゐてそれに丈け五尺程ある五色の房が垂れてある、衣紋所を出る時から其の檜扇をかざしつゝ一刻に廊下をそろくと錬つて舞臺に出るのですが、お衣裳は頗る立派なものでありますが袴は豫想よりは短かく、あれなれば充分御奉公が出來るだらうと思つてゐます云々（京都特派員報）

●木浦の奉祝日

降るかと危まれたる空模様も聖上天津日嗣の御座に昇ります十日は流石に一片の雲もなき大典晴れにして四方の翠色一入鮮かに限りなき瑞祥は天地に漂ひ市中は一様に國旗奉祝燈を掲げ幔幕を張り商國旗紅燈造花門松等にて裝飾し美はしさ滿街花の巷と化したるが午前十時過頃より非常の人出となり雑踏を極め夜は銀座街の奉祝門を始め各商店のイルミネーション白熱燈にて不夜城と化し此美觀を眺めんとする老幼男女にて更に一段の賑盛を極めたり府廳、警察署、法院其他各官公署にては午後三時三十分號砲を合圖に所屬員一同集合し夫々長官の發聲にて東方に向ひ萬歳を三唱し府民は一般公會堂にて奉祝せるが當日午後三時過ぎとなるや禮裝の奉祝者陸續として踵を接し大典晴れの空の下に只管時刻の到來を待つて定刻十分前頃には奉祝者數百名に達し公會堂前に整列し靜かに奉唱の用意をなしたるが間もなく合圖の號砲轟然として儒達山頂に轟くや福田有造氏の發聲に伴れ一同東向して咽喉も破れよと計り三度萬歳を絶叫したり此れと同時に各工場及び停止中の汽車汽船は三分間汽笛を連吹し各宗寺院にては一齊に梵鐘を撞きたるが其の音響は萬歳の聲と和し天地を震撼せしめ一時全木浦は音響の世界と化したるの盛ありき

●清州大神宮祭

一碧の秋天拭ふが如き大嘗祭當日清州大神宮に於ては祭典を執行す可く早朝より境内には萬國旗を張り神前に供饌を捧げ諸官廳職員日鮮諸學校生徒及び一般參詣者境内に溢る定刻十時神官は厳かに大祓祝詞を奏し終て齋藤第一部長以下各官廳代表者内地人代表者鮮人代表者等順次恭しく玉串を捧げ參詣者一同神酒を拜戴し十一時神饌を撤し式典を終たり

●公州大神宮祭

大嘗祭の當日公州にては大神宮に於て大神宮祭を執行し午前十前より小學校、普通學校、農學校生徒を初め重なる官民一同參集、各校生徒の君が代合唱の裡に齋主神殿に伺候し御饌を掲げ神饌を供し大祓式を行ひ供進使神饌幣帛を捧げ一同拜禮す齋主祝詞を奏し玉串を奉奠、供進使玉串を捧ぐそれより道長官代理澁谷第一部長、關口檢事正、花田法院長、齋藤警務部長、秋田慈惠醫院長、加賀美在郷軍人會長、中村典獄、池公州郡守、庄司警察署長、淺田郵便局長、各學校總代指宿技師、日本赤十字社員總代木村氏愛國婦人會員總代關口夫人、新聞記者總代丸山虎之助氏等玉串を捧げ式を終り齋主より神酒、神米を頒はり一同嚴粛裡に退散

金銀牌領受
髪を黒く長くつやを出さらく
として髪のぬけるを防ぐ事妙
毛を黒く長くす
本椿香油
本舗大阪三宅堂

●群山市民提灯行列
―本社群山支局主催にて―

千載一遇の御盛儀を行せらるゝに當つて群山全市民の歡喜奉祝の赤誠を表示すべく京城日報毎日申報群山支局主催となり群山全市民の奉祝提灯大行列を群山に於ける奉祝餘興開始の第一日則ち十五日夜を卜して盛大に舉行する事は既報の如くなるが各町よりは假裝行列の參加其他團體參加の申込續々として至り各商店は行列に參加すべく花萬燈の製作に餘念なく同支局に於ても壯麗なる花萬燈八尺有餘に巨人萬燈の製作指揮に忙がしく加ふるに同支局特設の煙火係として行列行進中絶えず打揚げしむれば地上長蛇の如く連る提灯花萬燈の大行列の行進と相俟て五色の火焔天空に閃めき群山空前の壯觀を呈するなるべし

●大連より

▲恩赦囚と保護 大連常置員報 御即位式當日公布せられたる恩赦令にて關東都督府旅順監獄に收監中の囚徒三十餘名は減刑出獄を許さるゝ事となりしが此内には朝鮮人も一二名在るが如し減刑者は一時に出獄せしめず一人若くば二人づゝ順次放免せらるゝ筈にて其免囚者は今回西本願寺關東別院が御大典記念事業として行ふべき免囚保護事業の手にて引受け彼等に職業を與へ且つ感化遷善に意を用ひ彼等をして再び悪習に染ましめざるやう骨を折る筈なり

▲支那の滿蒙策 支那政府の滿蒙經營は帝政問題の爲め稍々休止の狀態なるが東三省統一の治は帝政實現と共に即時施行の筈なりしに四國の帝政延期勸告に依り支那政府が本年中帝政を延期する事となりし結果自然その東三省統一制度も實施延期となるべき形勢なれど或は本年内に急遽實行するやも知れず之に關する大體の準備は既に出來し居るが如し次に内蒙古に對する手段として鎮守使の增派と共に蒙古王公及び喇嘛僧等の懷柔に意を用ひ且つ蒙古民族の漢民族に對する從來の反感情を緩和せん爲め租税輕減其他の方法を以て蒙民を慰撫し併せて漢蒙兩種族の融和契合を圖らんと政事堂及び蒙藏院に於て之が方策を講究し居ると云へば蒙古統治に就いても早晩何等かの政策を樹立し來るべく事の成否は別とし支那政府の滿蒙經營は帝政の如何に拘らず著々歩を進めつゝあるが如し

●連絡船上陸客

十四日午前入港新羅丸一二等客（一等一名二等二十六名）…（以下人名略記 判読困難）…十四日午後入港壹岐丸一二等客（一等三名二等二十七名）…

商況

東京株式特電

銘柄	十五日前場寄付	大引
日本郵船	一二四、五〇	一二四、三〇
日清汽船	一二二、五〇	一二二、五〇
鐘淵紡績	九四、五〇	九四、三〇
新株上同	……	……
日本郵船新	……	……
東株第一	一八五、〇〇	一八五、〇〇
東株第二	一八五、七〇	一八五、三〇
東新第一	一五五、二〇	一五五、一〇
東新第二	一五五、七〇	一五六、〇〇

債券現物特電

十三日出來値段（前日との比較）

銘柄	値段	比較
東洋拓殖	六七、五〇	……
日韓瓦斯	……	……
朝鮮銀行	一四〇、八〇	……
朝鮮瓦斯	……	……
南滿鐵道	二六五、〇〇	……

東京公債直取引特電

十五日出來値段（前日との比較）
五分特別 九七、七〇 ……
九分… [illegible]

深川在米特電

	値段	
一回四分	八〇、三〇	……
二回四分	……	
甲五分	九五、六〇	……

東京期米特電

十五日現在高 朝鮮米 三五、五八四 鮮滿米 六五、六九七 内地米 一五〇、八〇九一

大阪株式特電

十五日前場 十一月限 寄付 一三、五二 高値 一三、五四 安値 一三、四九 止め 一三、四九

大阪三品特電

銘柄	拂込額	十五日後場止値	十六日前場
宇治川水	五〇、〇	……	六六、七〇
神戸電鐵	五〇、〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇	……	二四、四〇
和歌山紡	五〇、〇	……	……
台同毛織	五〇、〇	……	二三、三〇
鐘淵紡績	五〇、〇	……	三三、三〇
同上新株	五〇、〇	……	四四、三〇
東洋精糖	五〇、〇	……	七五、八〇
大阪商船	五〇、〇	……	八〇、九〇
日本郵船	五〇、〇	……	一〇〇、九〇
大阪米穀	五〇、〇	……	一八六、一〇
東京新株	五〇、〇	……	……
大阪株式	五〇、〇	……	一五五、〇〇

大阪期米特電

▲十五日前場

限月	寄付	大引
十一月限	一二五、九〇	……
十二月限	……	……
一月限	一二七、五〇	……
二月限	……	……
三月限	一二九、三〇	一二九、五〇
四月限	一三〇、〇〇	一三〇、〇〇

朝鮮物産特電

▲十五日前場 當限寄付 一三、〇八 中限寄付 一三、五一 先限寄付 一三、五七 止め

銘柄	値段	銘柄	値段
馬山改玄	一三、一〇	釜山大豆	八、五〇
晋州改玄	……	慶山大豆	……
釜山改玄	一〇、八〇	浦項改大	……
木浦優玄	一〇、三〇	元山挪大	……
同改玄	一一、五〇	端川燥背	二、五〇
群山改玄	一〇、三〇	城津大豆	九、七〇
同改玄	一〇、〇〇	鏡山大豆	八、三〇
仁川改玄	一一、〇〇	長端大粒	九、〇〇
南浦改玄	一一、〇〇	仁川小豆	……
益山上白	一〇、八〇	宣川大粒	八、六〇
釜山中白	一一、三〇	平壤大豆	七、八〇
仁川上白	一一、〇〇	群山大豆	七、七〇
仁川中白	一〇、〇〇	木浦大豆	八、三〇
仁川並白	一一、三〇		

雜報

●製粉の其後
(内地製粉界は依然無活氣)

肝心の需動き振はざる爲め依然無活氣の裡に推移しつゝあるが内地市場は前報後益々氣丈を報じ各製粉會社の態度頗る強硬なるものあり最近の市況として傳ふる處によれば日粉の如きは現物商談を見送り來月もの二圓五十錢を手堅く維持し且つ昂りたる手合には應ぜざる模様なり又日清東亞の兩社も昨今の小麥相場より打算せば來月ものの二圓五十錢にて五錢乃至十錢方た切り込むこと、なるよりし新規商談は成立たるべく見送らんとする臨時を示せり而して補修り水車製粉の如き入は元山物百叺のみ

●輸入絶望を續け外國小麥は殆ど

は此所小麥高にて不引合なれば製造を手控へ居るが要するに需要期節に入りて市況…退を告げ各々實物難といふ形勢…は今後容易に更に…が製造制限を發表して市價を…んとするは亦餘儀なき事情なり

田中 米穀賣買 仁川海岸町三丁目 電話…

●株式は氣丈

株式界の現狀は一般氣迷ひ新動機待ちとも云ふべき狀態に陷り從つて相場も小高下の持合ひ範圍に入りたるが既に大勢の回復を期しつゝある人氣の底には案外實の潜在力強き爲め歩調は唯健實といふの外なく今前場の成行きも別…

●洋鐵と眼先

洋鐵は…高値…當業者…神經益々過敏

●亞鉛線昂騰

●新卷鮭と筋子

…一圓方の値上

十貫目の十圓處

目入荷の筋子一二三百貫

●生果類不味

仁川米豆取引所仲買人 三巴梓買店

下關相場

○朝鮮白米も保合 其後三百四十叺の輸入に過ぎずして依然米況も保合… ○大豆は依然…

京城正米

品目	値段
●朝鮮一等白米	十三圓四十錢
●同二等白米（常用）	十三圓五十錢
●元山大豆上品	十三圓二十錢
●永洞大豆	九圓三十五錢
●同	八圓七十錢
●長端大豆	八圓七十五錢
●同	九圓二十錢
●同	八圓五十錢
●依館大豆	八圓六十錢

○小豆は格別變らず…本品は頃日來…

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

▲十五日前場 十三錢安 …
…大阪跡安に…

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三七番 電略イヌ

市場零聞

▲前場の商戰 ▲前場下放れ ▲十六錢と崩れ二十一錢と返す大阪跡安に ▲底堅き散會 ▲矢張稍寄 ▲中限の賣買

仁川米豆取引所

十五日の一月限

寄附	九圓二十九錢
二節	九圓二十錢
三節	九圓十九錢
四節	九圓二十一錢
五節	九圓二十一錢

出來高 一萬四千四百石

限月	出來値
十一月限	五千二百石
十二月限	一萬八千二百石
一月限	三萬八千五百石

北濱だより

▲氣迷ひの株界 ▲明煉高し

▲大商内 三千三百石 ▲檢米改正 ▲輸移出の檢査 ▲廻著米杜絶 ▲依然從前の規定 ▲保合を脱せず ▲新規材料顯出 ▲小口の投げ招致 ▲正米の不勢に ▲氣を催ふ

奉祝御大典
平壤大同門通
日鮮向雜貨移入貿易商 河野支店
電話一一五番

奉祝御大典
平壤八千代町
大同館（いろは館）
電話三〇七番

平壤櫻町 壽 長電話二四一番

平壤櫻町 喜樂 電話五五四番

平壤櫻町 七星館 長電話一五一番

奉祝御大典
平壤南門通四丁目
貿易商 双喜號
長電話六二九番

奉祝大御典
平壤
賑町遊廓組合

奉祝御大典
平壤南門通二丁目
日鮮雜貨移入貿易商 森久支店
淺海新太郎
長電話三〇八番

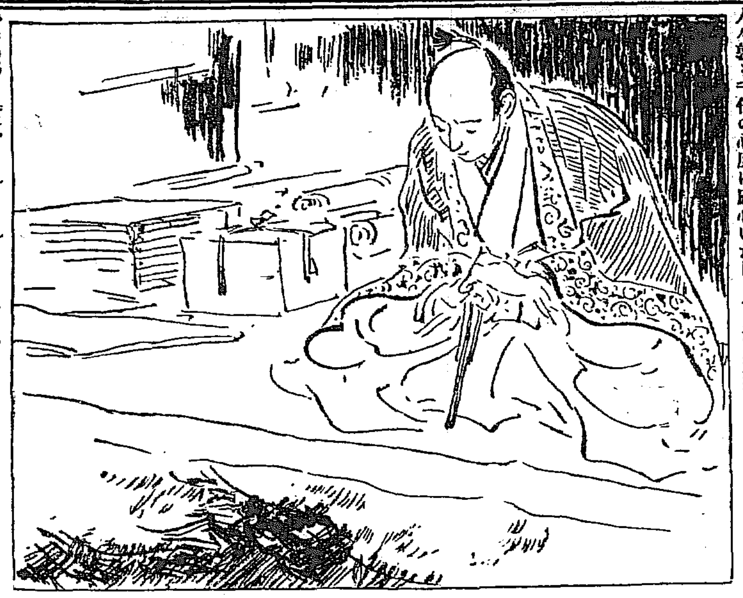
奉祝御大典
平壤大同門通
日鮮雜貨移入貿易商 鬼頭支店
電話一〇三番

報 豫…
…京城測候所 十五日午後…

越後大評定
第四十五席　早川貞水口演

金兵衛の出牢

いま附家老の勢ひを以て、小栗美濃守が堂々と一同に申し渡した時に、一同は平身低頭する。そこで殿様「美濃、ゆる〳〵逗留せよ」と仰せられ御退けになる、是で美濃守は直ぐに町奉行に沙汰いたし、萬屋金兵衛に出牢申し渡す、奉行は美濃守の御内命を被つたるに依り金兵衛に出牢を命じ、其後松屋萬屋に對し、何事の御咎めもない、相變はらず兩家は盛業いたし、家の繁昌を計ることゝなつた、此事を傳へ聞いたる城下の人々孰も千代の心底に感心いたし、



千代葬儀の當日は、知るも識らぬも會葬して、最と厳かに、盛んなことでござりました、此方は小栗美濃守様段々御城中に御逗留、御調なさる是ではいかぬと云ふので御坐いまして此事は斯う改める、彼事は斯う様すと、十分に御目を通し、御領分を一通り御廻りになりました、是がため忠直公いよ〳〵御酒を御止め遊ばし、全く御改心の態で御坐いますから、美濃守喜んで御暇を申し上げると、諏訪高島の御城へ御歸りになりました。然るに元和八年六月十五日、御家例に依つて、御實物殘らず御風入、御土用干と云ふので、廣い御座敷へ御實物を並べ、番號を打つて銘々の掛が、交はる代はる番をして居る、忠直公一日御實物を御覧に相入り、鈴木丹後守を召し『此繪圖を開いて見よ』と仰つしやる、日本の地圖でムいまして狩野法眼元信の眞筆足利時代より傳はつたもので、今日の様に正確なもので御坐いませぬが、兎に角元信が認めた極彩色、それを八疊の間へ一杯御擴げになり、其上に渡りを架けて御覧になる　忠『鈴木この城は何處だ　丹『恐れながら是は加州金澤城に御坐います　忠『フゥーム、前田家の城ぢやな　丹『御意に御坐います、以前は尾山と申しましたが、前田家が金澤と改名いたしました、大した山城と云ふのでは御坐いませぬが、平城同様なれども、餘程高く築きまして、大手には阪を登ると云ふ要害、犀川、淺野川の兩大河を控へ、是が城の腰を取捲き居りますに依つて、愈敵の取詰ました時に、此橋を切拂へば、籠城には最も適當、誠に宜しき名城に御坐います　忠『フゥーム、是は當城ぢやな　丹『御意に御坐います　忠『是は何處の城ぢや　丹『是は肥後熊本に御坐います　忠『ア然うか、熊本城か　丹『熊本は清正が心を盡して築かれましたので總て薩摩方を防ぐが爲、用意堅固に築城されまして御坐る、先づ日本で五本の指を捲らるゝは此熊本城で御坐いまして、天守などは殊に立派な者で御坐る　忠『此城は何所ぢや　丹『是は尾張公の城で御坐います　忠『ムーム、是は　丹『是は岡山で御坐います　忠『何人が築いた　丹『是は浮田が築かれました、黒く塗りましたから、烏城と稱します　忠『此城は　丹『是は播州姫路で御坐いまして、太閤の御縄張にして、此五重の天守は、池田家になりまして、築かれたる由、承知いたし居ります、是は白く塗り上げましたから、鷺城と稱し居ります、備州の岡山と並び稱され、播備兩國に烏城鷺城と相對して、誠に名城で御坐います　忠『ム、なか〳〵立派ぢや、是は何城ぢや　丹『是は堀尾帯刀先生の住居、只今小出出羽守御住居、出雲松江の鵜川城と申しる。

十一月十七日九星
舊十月十一日壬子　本命三碧東除友引

▲三碧 板挾みさなりて閉口する事有日 新事見合 乾の方は吉 喧嘩東▲四緑 調度好き日 轉居 入門 金談 求職 建築 名弘 婚禮 訴訟の和を圖る等萬吉▲五黄 あと始末のつかぬ事有日 注意新事手控 常の事は吉▲六白 酬の日 新事手控 常の事は吉 穏生に注意せらるべし▲七赤 妄說 細出の日 新事手控 新事は吉 保證 請印等を禁ず▲八白 子如な爭ふが如き事有日 新事手控 新事は吉 作法を守らるべし▲九紫 一氣呵成の日 轉居 入學 金談 名弘 出商 求職 婚禮 輸出等を始むる等萬吉▲一白 名利兩立の日 轉居 入學 商 婚吉 女子は直淑を知られて立身を致す 頗る振ふべきの日也▲二黒 齒切〳〵せぬ事有日 新事手控 新事は吉 一切かけ引せぬがよし

演藝案内

壽館　壽町　電話一〇五〇
年度御引立を蒙り居候本館此度小生に於て引續き經營仕る様相成候に付ては此段永年の御引立に預り度候就ては此度東京浪花節の吉田虎右衛門師及び讀賣の泰斗神田伯龍の兩巨頭を招き御愛顧に酬ゆる為め此後の御贔屓の程本日より向三ヶ日を限り木戸代共御承知被下度候
壽館經營者　小島廉之助

御成座　成町　電話二九一
第五十八回替藝題　幸田露伴先生作
一番目　行く雲
二番目　ひな祭り
入場　二場
大入の節は一上場行次第にて正五時より開演す

大正館　櫻井町　電話八七三番
○十一月十一日より寫眞全部取換 ○實寫 菊の花(御大典に因み特に映寫す)○新派悲劇 迷の果 全三卷▲伊國 アンブロジオ社傑作●探偵活劇 黒鬼 全三卷六千尺 ●實寫 御即位御大典之御盛儀之實況▲第一報 二重橋御出門▲第二報 京都御着 ▲日活 四條撮影所最近の傑作●舊劇 明烏十勇士 全三卷五十八場

浪花館　明治町　電話二六〇番
今晩(十五日)虎丸の讀物
前席　美術の譽 名作左小刀
中席　十八番もの 赤穂義士
後席　四ツ谷怪談 伊東海甫の狂死 柳田角之進
午後六時より開演仕候

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
龍光館　龍山停車場前　電話(龍山)四番
十一月十二日よりの新寫眞
一萬世不朽の御大典御即位式の實況 第一報到著仕候
泰西大活劇 鐵山王 伊太利に於て模範劇作
新派家庭劇 雲の

第二期會員募集

時代に後れざらんとする者は速に本叢書に來れ

内容規定 御申込次第直に進呈す
會費每月壹圓宛(會費は通算す)
入會金貳圓
一時拂前金拾圓
入會 十一月卅日限

蘇峰 德富猪一郎監修
東京帝國大學法科大學教授 法學博士 吉野作造編輯

現代叢書

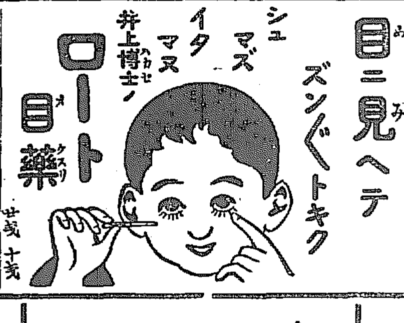
書目=配本月次
南洋　大正四年十二月發行
歐洲大戰　大正五年一月發行
極東の外交　二月發行
婦人問題　三月發行
現代米國　四月發行
新藝術　五月發行
獨逸(軍國)主義　六月發行
滿蒙　七月發行
最新科學　八月發行
新聞　九月發行
極東の民族　十月發行
(近時の)經濟問題　十一月發行

▲郵送料本社負擔▲
大阪屋號 取扱所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六六〇番

美顔術 最新白色法及脱毛術
神田駿河臺袋町九 東京美容院 院長 北原十三男 電話本局一七七一
向藥品部に於て院長渡歐の英獨佛等に於て實地研究に成る左の美顔材料を發賣說明書郵券三錢を要す
最新白色料にきび及しみ、そばかすの美顔料やせる藥優良なる毛生劑脱毛材料ちゞれ毛くせ毛直し等
白粉洗粉髮油迄美顔材料貯藏豊富

胃腸最新藥

日本 歐米 十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、醫療後の恢復期、營養補給の目的にて諸の病患小兒の營養不足等に常用せらる、常用すれば血液を増し精力を盛んにす。
發賣元 京城本町 合名會社 西城商店



期米 取引確實
定期米賣買之義無代進呈
前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通一丁目
大阪堂島米穀取引所仲買人
入江商店
電話東長一一九六 一二九五 一七三九 一六一
秘密嚴守 廿或 十弐

奉祝御大典
土木建築請負業
淀川商會
電話六四一番

奉祝御大典
平壤旅館組合

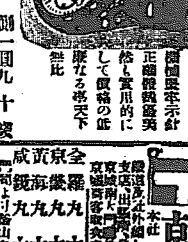
奉祝御大典
平壤山手町
朝鮮總督府指定御旅館
柳屋
電話二〇六番

奉祝御大典
平壤通關組合(いろは順)
内國通運株式會社出張所(電話一〇五番、六〇五番)
大和組支店(電話四三二四番)
小林運送店(電話三二五番)
青木組出張(電話一四八番)

齒科醫院開設廣告
今般左記の所に於て齒科醫院開設致し專ら診療に從事致候條此段謹告仕候
平壤本町(元平每社跡)
藤井齒科醫
藤井康基
電話二六一番
(夜間も診察致候)

奉祝御大典
平壤電氣株式會社
長電話五六番

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟錬せる技術を以て最も迅速に而も丁寧を旨とし御需めに應じ候
京城日報社 寫眞製版部

●新荷著アンクル式片側懐中時計●

機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

十九形 鐵側 一圓九十錢
十六形 同 二圓八十五錢
十一形 同腕時計鎖付 五圓二十錢
十六形 同ニッケル側 二圓六十錢
十三平形 同 二圓九十錢
十九形 同(機械表示) 三圓九十錢
十六形 同 五圓五十錢
十八形 同 入圓十五錢
十六形 銀鍍金(彫刻蓋) 二圓
十形 銀鍍金調刻兩蓋 四圓二十錢
同 銀側 入圓五十錢
十九形 同 十六圓八十錢
十七形 同(銀七寶) 廿六圓五十錢
十一形 同(腕時計) 十三圓八十錢
十九形 金 同 パリ(十年保險) 十八圓
十八形 同 二十圓
同 同 廿一圓五十錢
十六形 十八金 百五十圓
十九形 同 百五十五圓
右は今回新著の商品にて本商會向り之を有し他店に無き所のもの伏して希はくば急速御用命御座候何地方迄網の御注文に對しては代金引換
小包郵便にて御送附申上候
時計蓄音器、ミシン機械自轉車、洋酒、各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目電話九七二番

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
秀吉丸 十一月 日後四時出帆
君が代丸 十一月 日後四時出帆
神代丸 十一月 日後四時出帆
大有丸 十一月 日後五時出帆
第二太湖丸 月 日後四時出帆
○群山、大阪行
土浦丸
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
×漢城丸 十一月廿二日 午後五時出帆
温州丸 十一月十八日
△須磨丸 十一月 日
○木浦、釜山、長崎行(▲は甑島の浦に寄港)
×安東丸 十一月廿四日 午後二時出帆
▲天智丸 十一月十九日
○鎭南浦、大連行
×安東丸 十一月二十日 午後二時出帆
×天智丸 十一月 日
○木浦神戸大阪行
○薩摩丸 十一月十五日 午後五時出帆
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十一月廿六日 午後四時出帆
△チヨイサン丸 十一月 日
○大連直行
△千珠丸 十一月廿二日 正午出帆
△チヨイサン丸 十二月三日
○濟津、浦潮行(元山出帆)
▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸 十一月廿八日
神宮丸 十一月十八日 午後三時出帆
▲城津丸 十一月廿三日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
新高丸 十一月十六日 午前十時出帆
湖北丸 十一月廿四日
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運送引受仕候
○御乘船客は本部出帆前一時間前迄御來りの程
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番、二〇番、五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連太沽牛莊行
三河丸 十一月 日午前六時
○大連、太沽行
高砂丸 十一月廿三日 正午
相模丸 十一月三十日 正午
仁川海岸町二丁目 電話十一番 郵船回漕店

朝鮮郵船出帆
本社 京城支店、出張所、代理店、回漕店
京城南大門通 松原運送店
全羅丸 十一月廿四日
京畿丸 十二月四日
京城丸 十一月十八日
咸鏡丸 十一月廿八日
門司より釜山各港寄港經由
釜山行
穩城丸 十一月十九日
昌平丸 十一月廿三日
鏡城丸 十一月廿五日
元山より各港經由雄基行 元山發
平壤丸 十一月廿七日
忠清丸 十一月十七日
城津、清津、浦潮行 元山發
永興丸 毎月廿八日
北久味、五浦行
及は長崎經由
嘉島丸 十一月二十日
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港經由長崎行 釜山發
江陵丸 毎日
長生浦、方魚津寄港
(釜山浦項)發
三浦丸 十一月廿二日
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行 釜山發
海州丸 巨濟丸 慶寶丸 每日 釜山發
統營丸
各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目每 木浦發
各港經由麗水行麗水より釜山行
慶興丸 十一月二十日 木浦發
各港經由濟州島行(四回)
公州丸 十一月廿三日 木浦發
南多島海列島行(月三回)
公州丸 十一月十七日 木浦發
各港經由濟州島行(京畿)
宗信丸 十一月十七日 仁川發
海州他各港經由、鎭南浦行
江原丸 十一月十八日 仁川發
芝罘、大連、青島行
麗水丸 十一月十八日
晉州丸 十一月廿二日 仁川發
各港經由木浦行
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、桐島、海州行
平安丸 十一月十九日 群山發
十二月六日 若松行
性航 大黒山、木浦、門司、若松行
復航 門司、木浦、群山行

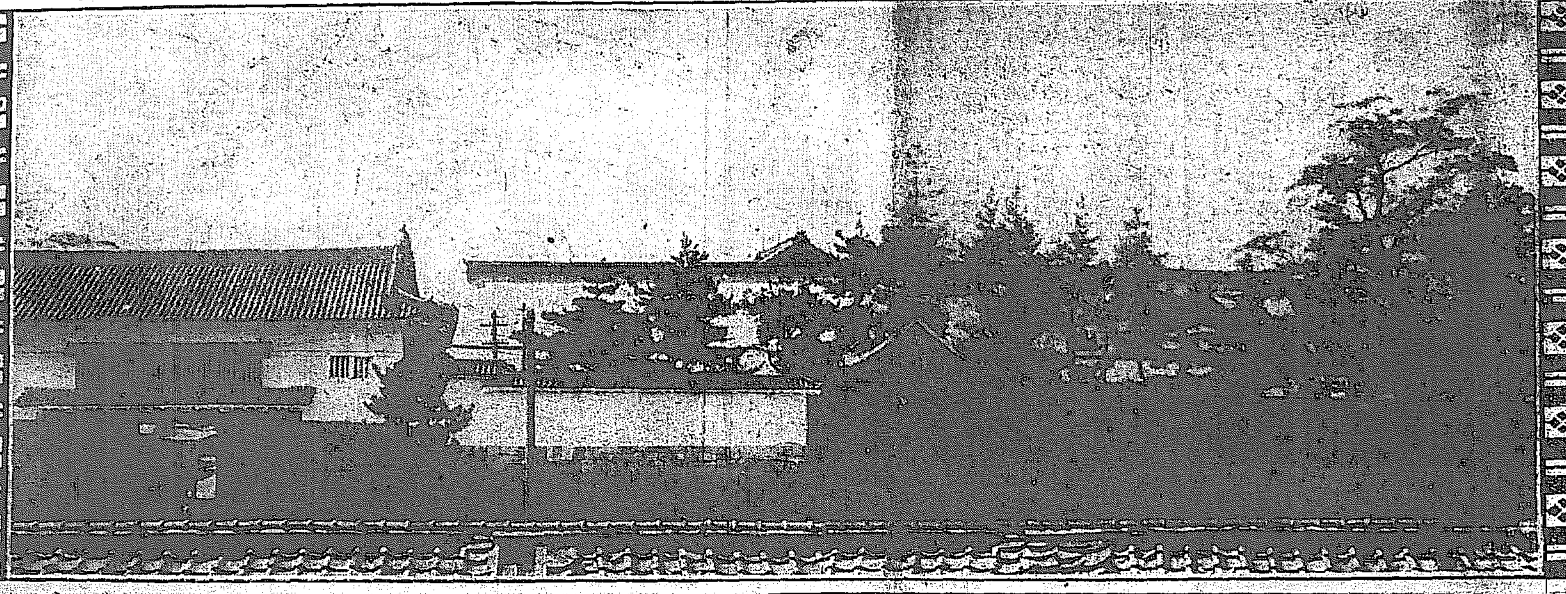
阿波共同汽船仁川出帆
第共同丸 十一月 日
東化 大連行
○大阪、和歌山、芝罘、大連行
第共同丸 十一月十二日
大阪、和歌山港にて右客船に接續致し送貨取扱可仕候
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 十一月 日 後九時
(元山出帆)
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 十一月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
華田町(電話二四四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門電話(二六八、二〇一七) 京城取次店 河村運送店

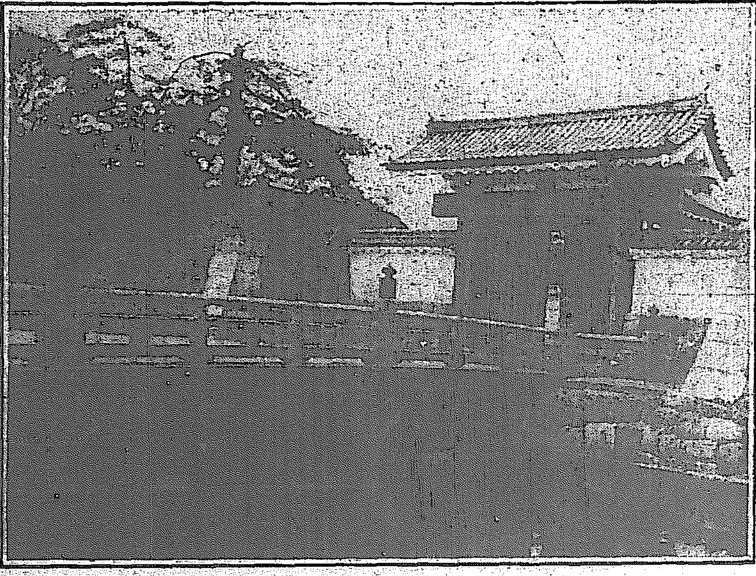
汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 十一月十六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行
小倉丸 十二月二日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行
立神丸 十一月十八日後十時
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津
第三琴平丸 十一月 日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十一月廿三日後六時
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 毎月二日九日十六日廿三日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕店

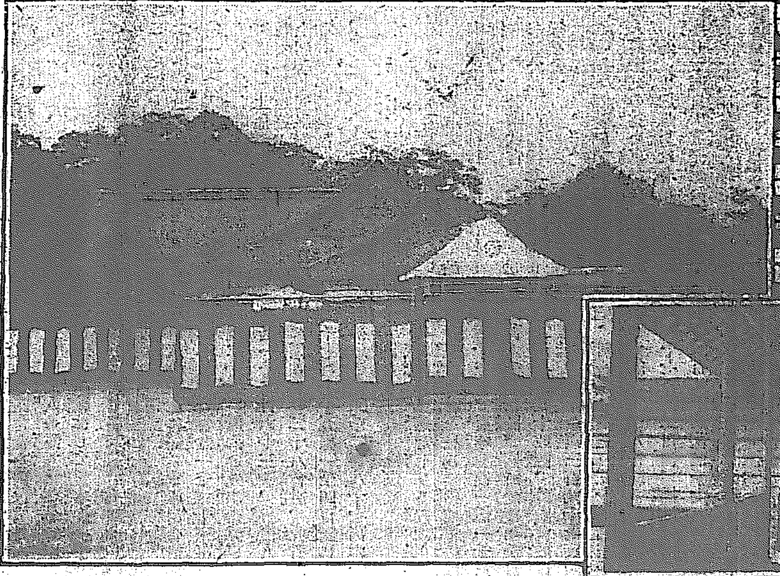
（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）（年中無休刊發行）

京城日報

第三版







大典參列の記

德富猪一郎　恭記

明日御擧行あらせらるゝ御大典の天氣を案じ、一夜雨戸を閉さつゝ、耿耿として眠らず。午前三時起て窓戸を推せば、曉星數點、天の一方にあり。果然天晴也。皇運愛度し。本日は晴天也。乃ち沐浴し、乃ち天地神祇を拜し、虔みて御大典に參列せんが爲めに、御所に向ふ。時に午前六時四十分也。朝雲未だ散せず、冷氣猶ほ嚴たり。併し傘を攜へず、斷じて其の晴天たるを信じたれば也。

朝は賢所大前の儀也。是れ 天皇陛下が、天祖の神靈に向て、大統繼紹を告げ、皇運の無窮を祈り給ふの御式也。予等恭しく正門ハ掖に參進、衛門の本位に就ける卷纓緌の冠を著け、袍の上に錦の裲襠を重ね、背に平胡籙を負ひ、手に弓を執りたる衛士を見ては、身は既に千年の昔に立ち返りたる心地せり。若夫れ威儀の本位に就ける上古の衣冠、儀仗、廷前に並列したる鉦鼓等、一として我が 皇統の恆久長遠なる歷史を語らざるはなし。神樂歌の神さびたる。遙かに春興殿の神扉を漏れ來る。頓て 天皇陛下は、白き帛の御袍を召して出御あらせ給ふ。仰ぎ奉れば、唯だ恐れながら活ける神明に對するの心地す。予等幄舍の一隅にある者は、神扉の中、何事の在すかを詳にせず、唯だ御神鈴の幽かなる音を拜聽して、心から皇祚無窮、聖壽無疆を禱り奉る也。入御の後、皇太子殿下を拜し、其の御殊勝げなる御動作を見奉れば、感涙の我襟を濕すを覺えず。一人慶あり、萬民之に賴る。天祖の神靈は、必らず我が 皇室の萬々歳を祝福し給ふ可し。吾人は此の盛儀に參列し、眞に莊嚴と神聖との如何なる意義を會得したるの感あり。天皇陛下の出御の頃より、一天雲なく、日光は赫灼として春興殿の勾欄を射れり。此の如くして賢所大前の儀は、首尾克く相濟めり。

午後は即ち紫宸殿に於ける御即位の儀也。此れは近くは帝國臣民、遠くは世界列國に、皇位傳承を告げ給ふ御式也。予は月華門より入り、右掖門と永安門と相接する、直角線の廻廊より、拜觀の光榮を忝うしたり。即ち斜めに右近橘と相對して、拜觀には最上の好位置にあり。高御座をも、殆んど其の八角の天蓋を除けば、他は皆な拜見するを得たり。予は此の大典に就て、何も云ふ言葉なし。唯だ其の極めて簡素にして、極めて莊嚴なる、實に日本固有の大禮は、固より此の如くなる可く、此の如くならざる可らずと云ふを以て、足れりとす可し。大隈首相が、八十に垂んとし、殺足を著けつゝ、衣冠束帶して、殿階を上下し、而して南階を昇り、南榮の下に於て、壽詞を奏するや、其聲は滿庭に震へり。斯くて南階を降り、萬歲旛の前に參進し、萬歲を稱ふるや、衆皆な之に和す。此聲は七千餘萬人の同時同刻に和する聲也。即ち日本國民の聲也。予等は 腹の底より叫べり。秋天一翳なく、碧落明鏡の如し。唯だ紫宸殿の棟上、何處よりか靈鵄飛び來りて、萬歲の聲に和せり。神武天皇の靈鵄の佳例を想うて、愈よ天祐の我が 皇室に優渥なるを感ず。

最後に予は實に日本國民たるを誇りとし、大正の聖代に生れたるを慶幸とし、而して此の如き千載一遇の大典に參列したるを以て、無上の光榮とし、聊か所感の一端を記して、我が愛讀者諸君と與に、此の光榮を頒たんと欲す。予の歸來したるは、午後五時前十分なりき。

大正四年十一月十日午後六時半京都に於て認む。時に窓外萬歲の聲雷の如く、障子亦た震ふ。

大典御寫眞

□大饗場二條離宮（上）（御塀の内に白く見ゆる屋根は大饗場にて其左は北門也）
□廻立殿（右下）
□大宮御所（中下）（廻立殿は大宮御所内頓宮と悠紀主基殿との中間にあり大嘗祭當日 陛下淨衣を召させ給ふ所也）
□二條離宮南門（左下）（今回御造營ありし新御門）

千載一遇の御大典御盛儀活動大寫眞

▷國民たるものは是非一度は拜觀して御盛儀を知らざるべからず◁

御大典奉祝の微意を表し

本日より十一月三十日まで

繪はがき

■特賣品より 十枚に付 金拾錢
■特賣品より 一組に付 金拾錢

右何れにても金十錢の御買入毎に壽座活動寫眞觀覽券一枚づゝ呈上仕候

つまり十錢の繪はがきを買へば十錢の觀覽券がお添へものとなりてタッタ十錢で

活動寫眞も見られます

繪はがきも十枚買へます

エハガキえ ただか **活動寫眞**が タダカ

本町明治町角
日之出支店
電話一二七六番

壽座活動寫眞觀覽券進呈

▷日活會社が大禮使の御許可を得て謹撮したる東京御發輦鹵簿より京都御式典の實況まで◁

來る十七日より壽座に於て御拜覽に供す

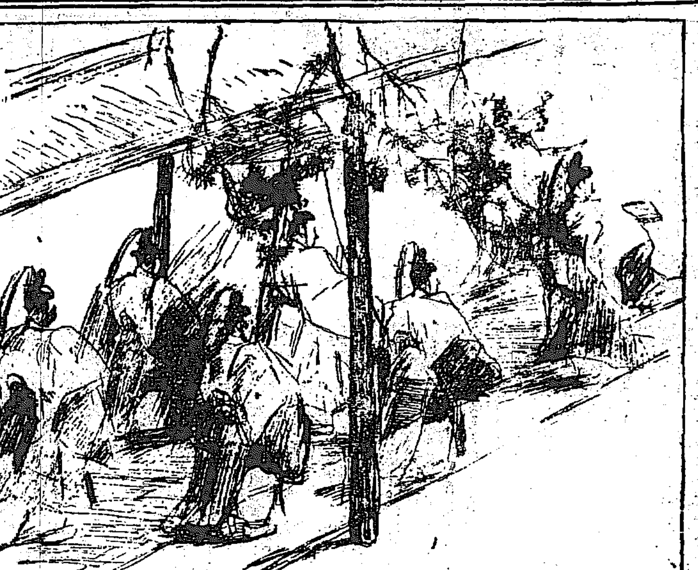
大阪三品

大阪期米

當限寄付十二圓九十五錢△中限寄付十…△先限寄付十三圓五十三錢

▲檢米復舊と强弱

十五日の二月限



大嘗祭渡御 平福百穗謹寫

皇后陛下御遙拜(東京特電)

畏くも徹宵御端座被遊

十四日の夕より十五日の曉にかけ大嘗祭の御儀を行はせられたる當夜青山御所に在す皇后陛下には白絹神々しき御袿に燃ゆるばかりの御袴を召され園典侍其他の女官と共に表御殿に出御あり午後八時三十分恰も天皇陛下御告文を奏させ給ふ時刻をはかり恭しく御遙拜在らせられ十五日午前三時半過ぎ悠紀殿御親祭の時刻にも同樣御拜禮遊ばされ徹宵御端座恭敬の意を表させ給ひ宮内大臣より大嘗祭の御儀滯り無く御終了のありたる旨電報到著せるを以て園典侍御前に伺候し言上し奉れば陛下には御機嫌麗はしく入御相成りたりと漏れ承はる

お雛樣を拜見するやう 瑞典公使夫人談

大典に參列の光榮を荷ひし

京都ホテルの瑞典公使夫人は滿面喜悅の色を湛えながら「お芽出度い〳〵」と記者に握手しながら參列の感想を語るやう「私は今日の御儀式に參列致す事の出來ましたのは無上の光榮で此印象は永久に忘れることは出來ません而して其美しかつた其神々しかつたことは何とも言葉に盡せません殊に日本古式の裝束で文武官の整列した樣は恐れ多いことながらお雛樣を拜見するやうで外國の即位式では到底拜することの出來ない神々しさで特に深い印象を與へました就中私共の悅ばしく拜したことは龍顏が殊の外麗はしかつたことで又た大隈首相が萬歲を唱へ御所の内外で一齊に萬歲を唱へ奉つた際の如きは御威斜ならざる御有樣とが拜せられ私共外國人までも悅に心が躍つたのであります」(京都特派員)

市中の取締り

十六日[illegible]至る三日間奉祝の餘興として各町共種々の催し提灯行列等あるより本[illegible]
[illegible]族なる全南光州[illegible]光山川須臨素方に寄寓し世帶向きの金錢出納を託せら[illegible]六圓六十錢を踏み倒して姿を晦まし一日に[illegible]星大和館に投じ日又々宿料を踏倒して逃走し市内を[illegible]中居壽吉を欺き[illegible]韓北川議護一組を[illegible]其筋に取押へらる[illegible]取し八月十五日には並木町[illegible]

歐洲大戰亂

▲伊國巴爾幹戰參加乎

獨逸將校アルバニアに活動す

伊太利の希臘に對する猜疑は伊太利をして巴爾幹の戰闘に參加せしむるに至れるもの﹅如し伊太利側の報導は希臘がアルバニア又はモナスチールに出兵す可きを懸念し居れり且つ曰く希臘は既にアルバニアのナロブに堡壘を築きつゝありて多數の獨逸將校はコルフより同地に入込み四名の高級獨逸將校は十月二十五日サロニカに到著し英佛軍の動作を視察し自動車にて英佛軍の宿營地なるゼテンリタに赴きて後希臘の水雷艇にて雅典に向ひたり彼等獨逸の將校は土勃羅希の四政府局に氣脈を通ぜしむるの特別なる使命を帶び居れりと云へり(倫敦電報)

▲墺飛行機

伊國に爆彈

羅馬來電に據れば墺軍飛行機三隻はヴエロナに爆彈十五個を投下し即死二十八名負傷八十九名を生ぜしめたり(紐育電報)

◎地方賜饌次第

天皇陛下は十六日正午二條離宮大饗宴第一日の儀に召されざるものにも各其の所在地に於て饗饌を賜はることゝ相成りたるが其の次第左の如し(東京特電)

第一鈴(午前十一時三十分)式場參入用意第二鈴(同四十分)式場參著席次に上席者賜饌拜戴並に御禮執奏の詞を述ぶ次に賜饌拜戴次に上席著 天皇陛下萬歲三唱一同唱和次で各員退散

◎李埈公附武官更迭

十五日左の如く李埈公殿下附武官の更迭ありたり(東京特電)

公附武官 黃 稠 祐
李埈公殿下京都行幸供奉に付き隨行を命ず

公附武官 金 基 元
李埈公殿下京都行幸供奉に付き隨行を免ず

◎加藤男急遽歸京

御大典參列の爲め京都に滯在中なりし前外相加藤男は令弟讓助氏の訃に接し十四日大嘗祭參列を御遠慮申し上げ十五日午前八時三十分東京驛著歸京せり(東京特電)

雜報

◎鮮内計畫資本

拂込金約四千萬圓

總督府の調査に係る大正三年十二月末現在銀行會社の計畫資本を見るに鮮内に本店を有する會社數は總計二百十一會計、此資本金合計五千五百九十七萬七千七百十二圓にして既拂込資本金額三千八百五十九萬一千三百八十一圓を算せり、今此等諸會社を營業別に示せば農業及び林業二十一、商業八十八、工業三十二、銀行業及び金融二十三、運輸業二十一、瓦斯電氣業十一、水產業二、鑛業三其他十會社なり、而して之れを組織別に示せば左の如し

種別	會社數	資本金	拂込資本金
合名會社	二七	一、三三一、三〇〇	七〇〇、四〇三
合資會社	六六	二、四〇三、三〇〇	二、一五五、九四〇
株式會社	一一八	五二、二四三、一一二	三五、七三五、〇三八
計	二一一	五五、九七七、七一二	三八、五九一、三八一

尚ほ之れ等諸會社を內、鮮、外人別に見るに內地人の設立に係る會社は合計百四十一社にして資本金一千五百七十九萬二千五百圓に對する既拂込資本金額八百三十八萬四千七十三圓朝鮮人の設立に係る會社は合計四十二社にして此資本金一千四十三萬三千二百二十圓、既拂込資本金五百三十三萬一千二百六十三圓、外國人の設立に係るもの二十八會社、此資本金二千七百七十五萬一千四百圓にして既拂込金額二千二百八十七萬六千四十五圓なり

次に鮮內に支店を有する內地又は外國の銀行會社を見るに內地會社は合計四十三社、資本金額一億一千三百二萬六千二百圓、拂込金額九千百四十二萬七千五百十四圓、外國會社は合計五社、資本金額三百九十七萬四千圓、既拂込金額三百五十七萬三千圓にして總計四十八會社、此資本金一億一千七百萬二百圓、拂込資本金額九千四百九十九萬三千七百六十四圓なり、而して之れを事業別に示せば最も多きは商業の十七にして農業の十之れに次ぎ、工業六、鑛業五、銀行業四等順次相亞ぎ水產運輸、瓦斯電氣は何れも二會社なり

◎全國社債額

未償還額六億

日本興業銀行調查部の發表に依れば大正四年六月三十日までの全國社債發行額は銀行社債三億九千三百三十九萬二千六百十圓同外債二百萬磅、會社々債一億三千三十一萬九千六百圓同外債一千二百六十萬磅及び五千萬法、總發行額は內債五億二千三百七十一萬二千二百十圓、外債千四百六十萬磅及び五千萬法なり發行額及び未償還額內譯左の如し

種別	發行高	未償還高
勸業債券	二〇七、九〇〇、五〇〇圓	一九一、六〇四、六〇〇圓
貯蓄債券	二〇三、四四一、六二〇	一七〇、三六六、六四〇
興業債券	二、〇〇〇、〇〇〇磅 四四、一六二、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇磅 四三、七六六、〇〇〇
拓殖債券	二一、二七七、五一〇	一九、三四四、一二〇
農工債券	九二、六〇〇、〇〇〇	九二、九三二、一八〇
銀行社債合計	二、〇〇〇、〇〇〇磅 三九三、三九二、六一〇	二、〇〇〇、〇〇〇磅 三九三、三四四、三一〇
鐵道及び軌道會社債	一三、〇〇〇、〇〇〇磅 二四、七七一、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇磅 二三、三三三、一〇〇
海運及び造船會社債	三三、八〇〇、〇〇〇	三〇、五六〇、一〇〇
鑛業及び冶金會社債	六〇〇、〇〇〇磅 一〇、三六一、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇磅 一〇、二四三、六〇〇
電燈電力及瓦斯會社債	二六、五五三、〇〇〇	二七、三四二、六〇〇
紡績會社債	一七、三〇〇、〇〇〇	一五、四〇〇、〇〇〇
織物會社債	一、九五〇、〇〇〇	一、四〇三、〇〇〇
釀造及び製糖會社債	八、三二四、五〇〇	七、八八八、五〇〇
製紙會社債	四、三三〇、〇〇〇	四、〇五三、五〇〇
セメント會社債	一、三五〇、〇〇〇	一、〇三一、〇〇〇
化學工業會社債	三、九〇〇、〇〇〇	三、四七二、八〇〇
其他諸會社債	五〇、〇〇〇、〇〇〇法 五、八六六、一〇〇	五〇、〇〇〇、〇〇〇法 五、三三八、一〇〇
會社々債合計	一二、六〇〇、〇〇〇磅 五〇、〇〇〇、〇〇〇法 一三〇、三一九、六〇〇圓	一二、六〇〇、〇〇〇磅 五〇、〇〇〇、〇〇〇法 一一九、三二七、三〇〇圓
總計	一四、六〇〇、〇〇〇磅 五〇、〇〇〇、〇〇〇法 五二三、七一二、二一〇圓	一四、六〇〇、〇〇〇磅 五〇、〇〇〇、〇〇〇法 五一二、六七一、六一〇

◎伊澤氏の行程

前警視總監伊澤多喜男氏は客月入京し淸津元山方面を視察し更に十四日再び入京し十五日午前八時半南大門驛發にて木浦に向ひたるが木浦より更に大邱馬山等を視察し歸東する豫定なりと

◎ソウル倶樂部招待

京城外國人の社交團體たるソウル倶樂部は大典奉祝の意味にて十六日午後六時より八時の間に於て貞洞なる同倶樂部にヲーアン、ハウスを催ふし大正倶樂部員を招待し款待する由

◎露練習艦入釜

露國練習艦オーレル號は十六日頃釜山に入港す可き旨某所に通報ありたり

京城雜筆を讀みて 南山老生

▲山縣蘆湖氏の京城雜筆は京日紙上の一異彩である、吾々が常に云ひたい事や書きたい事を憚りもなく書いて呉れるのは山縣氏である、余は京城雜筆を讀む毎に山縣氏が吾々の代表者である如くに覺えて愉快と痛快を感ずるものである。

▲十四日の紙上で小さい不平として述べられたうち其第一號の方は極めて同感である。京城協贊會が共進會の入場券と會員徽章とを、共進會閉鎖後十餘日を過ぎて初めて交附したといふ事は、山縣氏の雜筆で知つたのではない、此の例は他に幾らもある。餘りの滑稽さに腹も立たず、喧嘩にもならぬと云つて笑つて居た人もあつた。若し之を脚本にして松井須磨子に演らしたならば『嘲笑』以上の好喜劇となるであらう。山縣氏は小い不平と云はれるが協贊會に取つては大問題である。笑つて濟ますのは寄附者の方であるが、協贊會は一喜劇として放任する事は出來ぬ。

▲次に山縣氏は藝術座の『剃刀』に就いて小不平第二號を述べられたが、之は吾々の考へと大分距離があるのを悲まざるを得ぬ。余は須磨子の『剃刀』も『カチューシャ』も實の處まだ見物して居ない、僅かに昨夜『嘲笑』と『飯』と『サロメ』とを觀ただけである。けれども藝術座の劇がどんなものであるかと云ふ概念だけは得られた樣に感じて居る。

▲山縣氏は須磨子一座の藝は巧妙だが脚本が醜であり怪であると論せられた。余の見方は之と反對であつた。余は『剃刀』は見ないが其脚本は讀んだ事がある。昨夜の『飯』と大同小異の者と見て差支へない。若し山縣氏をして『飯』を觀せたならば同じく醜怪として排斥されたであらう。

▲自分が須磨子の芝居を見て感じた事は、餘り技藝が巧み過ぎる、芝居をやり過ぎる、原作を誇張し過ぎる、斯かる點が不滿であつた。併し脚本が醜怪とは氣附かなかつたのである。

▲山縣氏は重きを美化理想化と云ふ點に置いて考へて居る。余は美とか理想とかを離れた立場から此の劇を見ようとして居る。山縣氏と余との間には斯う云ふ大きな隔たりがある。山縣氏が感服して賞めらるゝ處が却つて余の見て以て不滿とする處で、氏が不滿とせらるゝ點が却て余の感心する處となるのは、兩者の根本思想の相異から來るので、已むを得ぬ次第である。一言に云へば問題にならぬ議論にならぬのである。

▲山縣氏は藝術座諸君の目的が社會の暗黒を現はすに在るか、美化理想化したる社會を現はすに在るか、思ふに兩方とも答へるだらうと云はれて居るが、余が島村氏であり須磨子であつて此の質問に答へるならば『兩方とも私共の目的でありません』と申すであらう。余は藝術座の演つて居る事が既に完結した者とは云はぬ、今尚ほ其道程に在るものと思ふ。併し此の芝居は目ばかりで見ないで下さい、在來の約束から離れて見て下さい、と云ふ態度丈は躁氣ながら認められると思ふ。唯其約束を脱れる事が出來ず所謂美や技巧を超越し得ざるのをまどろかしく感じたのである。之が山縣氏と全然立場を異にする所以である。(十四日記)

■匆々不一 (人吉林温泉より 大塊)

人吉は日奈久と異り淸潔且閑靜なり、溫泉試驗の成績も亦優良に有之候匆々不一

紅葉散る吾れ訪ふ旅や御町學

旅館樓上より球磨川上流を望む

床石のいて寂びたり秋の川

人事消息

▲伊澤多喜男氏(前警視總監)十五日朝發木浦へ
▲保科子爵 十五日出發元山へ
▲北村八郎仙氏(新任本町署警部) 十三日著任十五日各官廳訪問

公告 京城地方法院

左ノ不動產ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

◎高陽郡恩平面弘智洞第一二三番地
畓二百三坪五合三勺
最低競賣價額金二十一圓也
同所第一一三番地
田五千三百二十坪三合四勺
最低競賣價額金六百九十一圓也
同所第一一四番地
田五百三十五坪四合
最低競賣價額金六十九圓也
右 競賣申立人 金永善
不動產所有者 金東圭

◎京城府淸雲洞六番地
垈千三百五十七坪
最低競賣價額金五百四十二圓八十錢也
同地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家一棟
建坪七十八坪五合六勺
附屬木造瓦葺平家建一棟
建坪四十一坪一合八勺
附屬木造瓦葺平家建一棟
建坪十一坪四合四勺
附屬木造瓦葺平家建一棟
建坪十四坪
最低競賣價額金千二百三十三圓也
同所
木造瓦葺平家建本家一棟
建坪十坪八合四勺
最低競賣價額金八十六圓七十錢也
京城府淸雲洞五番地
垈百三十五坪
最低競賣價額金五十四圓也
京城府淸雲洞七番地
田千四百二十三坪
最低競賣價額金四百二十七圓也
京城府淸雲洞(舊北部白雲洞)
山地五千百七十三坪九合八勺五才
最低競賣價額金七百七十六圓也
京城府淸雲洞(舊北部白雲洞)二十統一戶
宅地四十坪五合
最低競賣價額金六圓七十錢也
京城府淸雲洞(舊北部白雲洞)二十統一戶
宅地三十八坪七合二勺
最低競賣價額金五圓八十錢也
右 競賣申立人 朝鮮實業株式會社
不動產所有者 金嘉鎭

◎始興郡君子面正往里五百二十一番七統七戶
木造草葺平家建本家一棟
建坪十一坪二合五勺
附屬木造草葺平家建一棟
建坪九坪
最低競賣價額金七十一圓也
右 競賣申立人 山本太郎
不動產所有者 朴壽會

◎京城府旭町一丁目二番地ノ一
木造瓦葺平家建一棟(一)
建坪三十坪九合七勺
最低競賣價額金二百四十六圓八十錢也
木造瓦葺平家建本家一棟(二)
建坪二十八坪五勺
最低競賣價額金二百二十八圓也
同所
木造瓦葺平家建本家一棟(三)
建坪二十一坪八合二勺
最低競賣價額金百七十四圓五十錢也
右 競賣申立人 淸田淺藏
不動產所有者 岩田仙宗

◎京城府本町三丁目五番地
垈六十四坪
最低競賣價額金二千五百六十圓也
京城府本町三丁目八番地
道路拾六坪
最低競賣價額金八十圓也
京城府本町三丁目九番地
垈八十四坪
最低競賣價額金千八圓也
京城府本町三丁目五番地
木造瓦葺二階建本家一棟
建坪四十九坪七合八勺
外二階坪四十坪八合一勺
最低競賣價額金六百三十四圓十三錢也
京城府本町三丁目九番地
木造瓦葺二階建本家一棟
建坪五十坪八合三勺
外二階坪四十三坪九合一勺
最低競賣價額金六百六十三圓十八錢也
右 競賣申立人 株式會社百三十銀行
不動產所有者 西山吉兵衛

◎高陽郡龍江面(舊西部盤松坊阿峴契)三湖井洞二百三十二統七戶
宅地五十八坪七合四勺
最低競賣價額金五十八圓七十四錢也
同地上ニ建設
木造草葺平家住宅八間
建坪十三坪八合五才
附屬木造草葺平家住宅十間
建坪十六坪六合九勺五才
最低競賣價額金三十圓五十錢也
右 競賣申立人 鄭文寅
不動產所有者 鄭德煥

◎京城府麻浦洞百番地
垈五十三坪
最低競賣價額金百八十五圓也
同地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家一棟
建坪十一坪五合
木造瓦葺平家建一棟
建坪二坪
最低競賣價額金百十二圓也
右 競賣申立人 戶田長次
不動產所有者 李弼駿

◎京城府林町四十一番地
垈三十一坪
最低競賣價額金百三十九圓五十錢也
同地上ニ建設
木造草葺平家建本家一棟
建坪十三坪五合七勺
最低競賣價額金二十四圓四十錢也
右 競賣申立人 金駿基
不動產所有者 柳海永

◎京城府八判洞一番地
垈三十三坪
最低競賣價額金三十三圓也
同地上ニ建設
木造草葺平家建本家一棟
建坪七坪八合一勺四才
最低競賣價額金二十一圓八十錢也
右 競賣申立人 朴晏榮
不動產所有者 西川健次郎

右競賣期日ハ大正四年十一月二十日午前十時トス

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

◎看護婦入用 希望者は至急本人來談あれ 明治町 中島醫院 934
◎門生入用 希望者本人來談あれ身元保證人を要す 京城黃金町一丁目 岩田寫眞館 922
◎誠實店員入用 至急讓る希望者は左記へ 市內目抜の場所今回歸國に付 本町一丁目 ○ 福井堂 913
◎類少き營業中の工場主人歸國買受 但千圓以上要す 電二七二 太平堂 916

◎番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

得意廻員入用 年齡十八歲以上廿歲迄身體强壯なる者採用但四歲迄保證人二名を要す 京城南大門通六丁目 京城支店 933
帳簿係一名店員數名入用 市內確實の保證人二名要す希望者履歷書携帶本人來店に限る 大平通り 遠藤味噌醬油店 電話九八二番 932
店員二名入用 十五歲迄小學校卒業程度 市內確實の保證人二名を要す 東京 京城本町一丁目 塚谷出張店 924
小供入用 十五歲以上廿歲迄の高等小學校卒業市內に確實なる保證人を要す履歷書携帶本人來談あれ 櫻井町一丁目 新田演藝部 928
皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 802
元山牛肉 特色精肉の親玉 蕩盡分大安賣出仕候 京城本町二丁目 元山八浪精肉店出張所 電話二四一五番 870

○京城黃金町四丁目二〇番地 內科 產婦人科 外科 花柳科 上野醫院 電話一九三四番 881
濁酒は三に限る 龍山驛前 丸三酒場 電話三〇三 880
質屋 田村質店 黃金町 電話二九一六番 868
恩給年金類立替 江州屋 京城永樂町一丁目四十四番地 電話八〇三番
はねつき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 847
難症治療 京城南山町三丁目 一元堂醫院 電話壹武四番 840
寶川新案堅牢椅子並に防水布 監獄製火鉢格安賣出 是非共一度御來店 洋家具專業 黃金町二丁目長橋通角 831
恩給年金類立替 山口屋 京城御成町 電話二七七番 856
◎縣人會大兎狩 來る二十一日(日曜日)午前三時半 熊本縣人會幹事
江原道橫城邑留守宅 尚放火犯人御檢擧の警官に感謝す 京城明治町二丁目日の丸旅館滯在 山川傳次郎 中川甚七

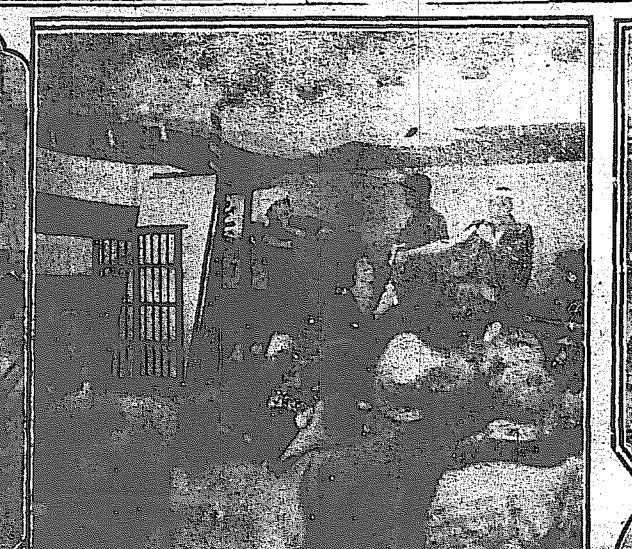
新刊書御案內
財政と金融 / 擴張保物描法 / 現代式商店の經營 / 最新實驗養鷄法 / 科學の天地 / 日記及語錄 / 稽古の速成 / 團菊妙選 / 戰に使して / 稻もし / 灯さもし / 情死するまで / 放言錄 / 伊藤仁齋修養訓 / 道德と經濟 / 現代の青年 / 續和漢名詩鈔 / 朝鮮熟語解譯 / 自修リーダ研究 / 式辭と演說 / 碧巖錄講話
京城本町 大阪屋號書店 電話一〇八

其筋にては萬一を慮り場内取締の爲め巡査部長以下卅五名を會場に出向く筈市内は十五日より十七日に[illegible]一般[illegible]賑ひをなすべし

●宿屋荒らし 福島縣河沼郡若宮村瀧藤浩(三七)は本年一月より觀[illegible]二十六日入京と同時に壽町臨時宿中西方に投宿し十一月一日迄の宿賃[illegible]金は[illegible]近所にて[illegible]しと欺き金十圓を借用し同夜直ちに新町遊廓にて遊興に蕩盡し同じく三[illegible]ろ佐藤方[illegible]なりと詐稱し翌[illegible]

[illegible]村京城新町百十三番地[illegible]修繕職岡想四郎(二八)はなる所本年七月二十日黄金町一丁目[illegible]呉れとタイヤ(一組代金四圓)を騙取し同月三十日も同樣手段にて鈴木より同じくタイヤ一組を騙取し是を修[illegible]京せり

[illegible]は何れも十五日入[illegible]



●十五日の市中 南山町連の博多仁輪加、中券藝妓料理屋組合員の仕丁の行列(東拓前にて)大和町の娘手踊、明治町空地の子供角力

●祝へ！歌へ！ 歡に湧き返つた市中

曠古に例なき盛典のめでたくも滯りなく執り行はれたるを天も俱に慶ぶか十五日は、朝の程より初冬の蒼空、瑕もなく晴れ渡りて、風もなく四温日和の寒からず、暑からざる上々吉の好天氣とはなつた、前々から滿を持して待ち構へた市中の人氣は茲に一時に發酵し千秋萬歳世に類ひなき此の佳日を大白を擧げて喜び壽き、熱き血潮のあらんかぎりを捧げて祝し合はんとする三十萬市民の心臟は爲に早打ちして全市は宛ら湧き返へる賑ひを呈した

▼凝らした趣向

各町の奉祝裝飾引つゞき趣向を凝され中にも本町通り明治町、黄金町、永樂町、南山町、大和町、新町、旭町一帶はいづれ劣らぬ奉祝振りに行人の足を停めてゐる、車を走らせて各町の催し物を觀て歩けば一時過ぎから明治町東拓前の空地大典奉祝會主催の自轉車競走會のグラウンドに躍る角力場で同町子供連の蚊の脛相撲が始まつて十重二十重と見物の黒山も物凄い、世話人らしい男の指先軍配で物言ひも苦情もなしに負けたり勝つたり番數が進んで行つて三時頃になると五人拔きが盛んになる、賞品を貰つて喜ぶ顏、番毎に喝采する見物衆の顏の色何處を見てもニコ〳〵ものである、お隣りの自轉車競走には廣いグラウンドに人垣を造つて背負けるな白確りヘビーヘビーと大騷ぎだ

▼景氣好い山車

優勝選手は別項の通りと定まつて五時に終つた、次ぎに男仕丁に女仕丁の料理屋組合中券藝妓連百餘名は囃子を先に紫地に白拔文字の組合券番旗を立て白木の屋臺と共に曙の二見浦、高さ一間餘の大神酒德利一對の山車を曳いて豫定の道を通つて本町通りを鮮銀前に出で南大門通りから黄金町を經て四時過ぎ明治町を再び本町に出で五時券番に歸り着いたが一行は優しき脂粉の香りを漂はせながら過ぐる道筋では到る所大受けの大景氣であつた

▼可愛い娘手踊

大和町では神崎福次郎君の肝煎とあつて元京城日報社跡の空地に立派な舞臺が掛けられて博多仁輪加連中の市中廻りに出たあとには可愛い娘の手踊りに見物はギシ〳〵詰めかけて觀客大喜びである、午後五時から福引があり博多仁輪加もあつて更に大賑ひだつた、南山町一二丁目では町内の入口に大奉祝門が立てられ門柱には萬歳旛を飜し六百燭の電球を取付けて先ず人目を奪ひ井上東拓理事の舎宅前に舞臺を設け仁輪加、喜劇、手踊り、劍舞、落語などが次から次へ喝采に迎へ送られてゆく、盛んな事である

●歡の灯は耀けり 十五日夜の京城市中

▼學生一萬 里餘の紅蛇となつて市中を練る

大典奉祝に熱狂せる十五日の京城市中の賑はひも漸く暮れて更に新なる歡樂の灯の輝きそめし午後六時半頃より京城龍山各學校男生徒の大提灯行列は行はれたり行列參加生徒は東洋協會、京城中學、商業普通學校、醫學專習所、工業傳習所を始め各内鮮學校生徒一萬餘名にして南大門に集合せる一隊は十數町に亘る行列を造りて『北は樺太千島より南臺灣澎湖島』同胞總て七千萬』の唱歌を誦しつゝ折柄本

小學校生徒一萬餘

社樓上より球燈を振りて浴びせ掛くる萬歳に唱和し黄金町に折れて總督官邸に向ひたり、それと前後して出發せる各團と共に續々官邸に到れば山縣政務總監は遠藤秘書官その他の總督府高等官を隨へ一同と共に萬歳を奉唱したり

斯て行列隊は各辻々に人垣を築きて打ち集へる本町通りを提灯打振り打振し躍しつゝ蜿蜒たる火龍の列を布きて進みつゝ長谷川町等を太平通に出で本社前にて本社員一同と共に萬歳を奉唱し解散したるも行列の終れるは八時過ぎにて近來稀に見る盛觀なりき

▼盛んな人出 各町催物の歡迎

七時から八時にかけて學校生徒の提灯行列の賑々として打續きながら唱歌を高誦しながら過ぎゆくがあつて唯さへ雜沓の本町は之れを見んとて犇めく群集で一通りならぬ混雜を見たがそれが全く過ぎ去つたのちも依然人足は退かず押すな〳〵の勢ひで盛んな人出である、大和町の舞臺では例の滑稽けた博多仁輪加が著しく人を寄せれば南山町の舞臺でも劍舞喜劇等がヤンヤと喝采を受け明治町空地の娘手踊は同所の角力場で夕方怪我人が出來たといふので支度が遅れ僅かに電氣の取付やら何やらで手間取つたが之も九時過ぎには始まつて各少女達の美しい振りを見せ、平山牛乳店の蛇踊りは晝から夜にかけて市内各所を踊り歩いたが十時過ぎ本社前にその奇拔な踊を踊つて見せた、此の夜は壽座の藝術座劇始め各興行物も盛んな景氣で市民の多くは歡樂の第一夜を心ゆくばかり祝ひ且つ樂んだのであつた

□奉祝の日の心得 瀧警務部長談

十五日より十七日迄は大典奉祝の爲め各地一般種々の催しあるが今回のお祝ひは悦んで亂れず静肅を保つべきは言を俟たない奉賀の意味にて祝杯を擧ぐるは寔に目出度ことながら徒らに其程度を過し種々の狂態を演出し折角の祝賀も殺風景なることに陷り警察官憲の手を煩はすごとき事ありては甚無意味且つ頗る恐縮すべき次第なれば一般に注意されたいものである殊に郡部地方よりも賜饌の光榮に浴して入京する人々多數なる上市内にては提灯行列の催し神酒の接待等も十餘箇所にある次第だから奉祝者は此際充分その邊に手ぬかりのないやうに望ましいのである

●咸興の提灯行列 十五日夜大提灯行列を催す參加者無慮一萬餘人未曾有の盛況を極む(咸興特電)

今日の賑ひ

明治町東拓前の空地にて擊劍柔道大會▲午後六時よりは同所にて京城本町通各商店の娘手踊▲京城券番は午前九時より午後五時まで屋臺を出し大和町、新町、本町、南大門通、太平町を練り歩く▲大和町一丁目の博多仁輪加は朝より夕方まで市中各所にて開演▲大和町一丁目香京城日報社跡にては午後五時より博多仁輪加、娘手踊、筑前琵琶等あり▲其他市内各所にて旺んなる催物あり

●本社前で 萬歳交驩 蛇踊りが異彩

電飾の光輝華の如き十五日夜の本社前には狹霧太平町通りを立罩むる夕方より蜿蜒火龍の如き小學生が通る而も南大門小學校から太平町通りを眞直ぐに本社前に進み右折黄金町通りに行進したこととて本社樓上の萬歳と小學生の萬歳とは共に天地を撼かす許りであつた、次で麻浦の鮮人普通學校生徒が先生に引率せられて萬歳を三唱し京城中學生も朝鮮銀行前から萬々歳で通り過ぎ何ぞ後から〳〵と盛んな行列が通つて何れも本社員と萬歳を叫び交して行つた、又平山牛乳店の蛇踊は本社前で得意の腕前を見せ階上階下ヤンヤと大喝采であつた

●仁川支局主催 提灯行列 火の海、萬歳々々

既報の如く本社仁川支局主催奉祝大提灯行列は十五日午後七時擧行之れより先き集合地たる元仁川水族館の空地に集り來るもの無慮七千、聽て出發時刻となるや久水名譽總指揮官及び奥田總指揮官先登に立ち樂隊大國旗本社々旗高張提灯之れにつゞき徐々として會場に練り出し途中萬歳を唱へ豫定の順路を經て再び會場に著き散會したるが當夜は非常なる人出にて仁川近來になき盛況を呈したり

□須磨子へ均一祝儀

松井須磨子の訪問挨拶を受けた紳士紳商は須磨子からお土產の貰ひ放しもならず、と云つてどの位の祝儀を包んで可いものか見當がつかず、ドドの詰り白上君其他に持込んで可然賴むと云ふ事になる、白上君引受けの大呑込み早速廻状を廻して「一金五圓均一の事右松井須磨子來京記念の爲め聊か賛成の諸君は御記名を」とやつたので紳士連一同之は奇拔だ面白い

●今夜は『マグダ』藝術座のお名殘

壽座に開演中の藝術座松井須磨子一行は連日滿員の好況を呈しつゝありしが愈々十六日を以てお名殘興行と爲り今夜はヅウダーマン原作『マグダ』四幕及びチエホフ原作『熊』一幕を上場し之れにて京城は打止め十八日より仁川にて興行する筈なるが『マグダ』『熊』は共に近代劇中上乘のものとして好評嘖々たれば定めて見物なるべし

愈々今晩限り

島村抱月一行 松井須磨子

▲故鄉(マグダ)

▲熊

觀客の御便利を圖り京城各煙草小賣店(廣江商會)にて入場切符を發賣す特等一等二等の御觀客樣に煙草の御土產進呈

愈々今晩限り 京城 壽座

●自轉車競走優勝選手

十五日午後明治町空地に自轉車競走の優勝選手左の如く右の内各一等は奉祝會の優勝旗を受けたり ▲一流(五十週)一著山本、秋葉、山本久作▲二流(三十週)西谷、掛江、山崎作▲三流(十週)酒見、増田、林與吉▲鮮人一流(二十五週)鄭、秋場、三平

●乘馬倶樂部の遠乘

京城乘馬倶樂部にては十四日午前九時より陸軍將校警務總監部員と共に東大門外三里餘なる東九陵に盛んなる遠乘會を催ふし午後歸京したり

移轉御披露

謹啓先般來市區改正の爲家屋取壞しに付左記場所へ改築中の處今般落成と同時に移轉仕り從前の通り營業致候間茲に御披露申上候 敬具

十月三十日

京城黄金町二丁目(電話一〇一五番)

時計商 喜多金光堂

振替口座七八二

奉祝御大典

大日本麥酒株式會社

開店御披露

謹啓時下秋冷の砌りに候處益々御盛昌の段奉欣賀候陳者弊店儀各位の御同情の許に日増しに隆盛に赴き難有仕合に至り奉感謝候就ては今般當地に本店同樣時計及貴金屬品製造工場を設置し販賣部を開設致し御小賣營業を開始仕候間品質共に優秀の製作品を選擇致し誠意確實に營業致候間何卒多少不拘御用被仰付度永久御愛顧の程伏て希上候 敬白

營業品目

金銀時計類在輸入、金銀眼鏡貴石入指輪、金及白金細工、美術裝身具一式、金銀什器賞牌記章、入賞盃及諸記念品製造

本店 大阪市東區博勞町四丁目 村木商舖 主 村木正藏 電話南一八四八 一九五二 本局三三七 振替大阪二二七六番

京城本町二丁目九八番地 村木商舖京城支店 時計部 金工部 電話四七一 振替京城三一九〇番

醫院開業廣告

小生儀明治四十五年より本年迄仁川に於て佐藤病院長として經營罷在り候處今回京城諸彥の勸告に依り本日より左記の所にて開業仕り候條此段廣告候也

京城本町二丁目(元中島病院跡)

内科 小兒科 專門 山田醫院 電話二八八〇番

院主 山田篤作

千生瓢（42）

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（十）

天機といふものは、實に微妙なものである。堂木山の砦に變心の者があるといふ噂、誰が口より出るともなく、自から陣中に傳はつたので、美濃守秀勝此度思案して、木村小隼人佐を本丸に入れ、大鐘藤八郎、木下半右衛門、山路將監を外曲輪に出して、用心嚴しく備ふるのであつた此措置に遭うて、内心平かならぬ將監正國、頻りに、此陣中を引き拂うて、後方へ退いた上、越前勢と鉾を交へぬやう、戰ひを避けたいと考へて居た。幸ひにして越前勢も寄せず、味方も打つて出ぬので、對陣に日は經れども、矢合せの日も定まらぬのを、内心悦んで居たのであつた彌生も疾に過ぎて、卯月もはや十日となつた、宵月の光りの後の峰に隱れて、陣中何となく物寂しき折、木戸を守つた大將分の侍士が來て、

『只今二の木戸を打ち叩く者おざるに由て、相咎めまいた處、苦しからぬ者おざる、將監殿に宇野忠左衛門が參つたと傳へられよと申しておざります』と申し次いだ。

正國は俄かに胸を跳らして

『越前に在つた頃は、朝夕に訪れられた宇野殿ぢや、其方とも、御面體は見識つゝらうに』

『如何にも御辭は聞き覺えおざりまする。御面は何とやら』

『逢うたと申すか』

『背ましたる處もおざれど……』

『敵中に入る爲に、面體を扮されたものと存ずる。敵味方と隔てても、心に隔てなき友の事。面會も致したいが、此程よりの風說もある。其方罷り向うて、忠左衛門殿には、能くぞ御入來下された。御志の程過分に存ずる。去りながら、何の御用にて御入なされたか、夜陰と申し、御面談は人の批判もいかゞおざる。依て御懷しさは限り無うおざれども、是れへとも申入れず候ふ。誠に心の外なる世の成行きと、思召し合せられたい。返す〳〵も御入のほどは忝なうおざる。御用の片端なりとも、仰せ聞け下されたいと申して、木戸より御歸し申せ』

京城明治町木村屋パンを知らぬ方ありや（京城市内食パン其他配達電話二八七〇番）

『畏りまいた』

此家人が出て行つた後まで、正國が胸は鎭らなかつた。他ながらでも竹馬の友が姿、一目見たいと思ふ念さへ湧いて來た。

家人はまたもやこゝへ來た。

『何うぢや宇野殿歸られたか』

『いえ歸られませぬ。重ねて仰せおざりまいた』

『ほゝう、何とお言ひやつた』

『世の煮ましさは、此方も同然おざる。其をも思はず、斯く夜陰に參つた事は、幼稚の古き昔は申すに及ばず、壯年の近き此頃までも、朝晩に親み寄つた交り、更に忘れ申さず、定めて御忘れもおざるまい。然るに圖らずも斯やうな世と相成り申して今日か、明日か、いづれ戰場の土となるべき身でおざるに由つて、今生の御暇乞、來世の御契り、切て快く一面を遂げ、一盃の酒に長夜の闇を晴らしたいと存じて、斯やうに一瓢を提へ參つておざる。我等兩人同郷に生れ、而も同年の友垣、今以て仇と呼び、敵と呼ばるゝ怨は、つゆ覺え候はねど、くり返し〳〵仰せられておざりまする』

『おゝ同郷といひ、同年といひ、怨みを結ぶ覺えはないとか。骨肉にも及ばぬものを、何しに情を忘れうぞ。切ては物越しに、聲ばかりでも聞かうぞ。案内しやれ』

正國は故情に胸をかき亂して、ぬつとばかりに座を起つた。据金具の相打つ音は、鏘然として武者振を忍ばしたが、情夫に引かるゝ娘の如き胸を懷いて、柵の傍らに立ち出でた夫と知つた忠左衛門は、靜を極めて古へを語り、新しきを說き、互ひに面を合せぬ恨みを述べ立てた。正國も夫を聞いては、實に道理と思つたので、突と立ち寄つて柵門を開いた。

『宇野殿おざるか』

『山路殿か』

互ひに體手をさし伸べて、無手と把交した。筋金の上には點々として滑き珠の轉ぶのが見えた。

滋養　乃木餅一箱十錢五十錢　京城壽町乃木餅屋◯電二七五二番　朝鮮到る處の菓子店雜貨店にあり

讀者の欄

本町壹七丁目の餅屋と麥藁屋とは二軒並んで煙筒を突き出して居るが煤がひどく飛んで來るので近所の營業者は大迷惑何うか煙突掃除を忘れぬ樣お願ひ申したい（近所の迷惑者）▲奉祝提灯行列は大に盛にやるべし市内各一軒から必ず一人は參加すべし（勝煎）▲市内へ水をまくのは可いが何時もまき過ぎて居るのは朝鮮銀行の前だ彼處許りまいたつて何にもならぬ市内一面の大道路丈けへでも平均してまいて貰ひたい府廳の前と御社の前許りへ澤山まくのは可笑しい（ゴミ生）▲十七日夜の市民大提灯行列には思ふ存分底抜け騷ぎをやりウンと御大典萬歲を奉祝すべきである、貴社が唱ふる如く從前のやうな風呂の裡で屁を放るやうな不景氣なものは止めて呉れ給へ、俺は盛んに彌次るべい（南山浪人）▲市民大提灯行列の際は何とか唄つて歩いたものか豈夫『日本勝つた〳〵!!』もやれまいし『ワッショイ〳〵!!』も可笑しい、誰れか一つ好い文句を考へた人はなきや（龍山岳陽）▲このごろの美しき京城の秋を一度御らん下され度く候（松都山人）

新刊紹介

▲海運（交通論第一卷）小樽高等商業學校教授坂本陶一氏の著にして海運に關する科學的研究の便に供せんとするもの也本書は一般海運の發達及現況、船舶及船員、海運の組織と其性質、同盟及合同、海運補助と[illegible]に有名なるジョンソン、スミス氏等の所說を最も忠實に紹介しあり交通經濟界の一大進步にして昨春初めて出版したるもの今回更に完全なるものとして八百頁定價二圓八十錢東京日本橋寶文館發行

▲うれ〳〵川　與謝野晶子さんの例の美しい筆で書かれた面白いお伽噺です。うれ〳〵川の辻々にお爺さんお婆さんが九人ゐてお爺さんお婆さんが珍らしいお土産を持つて訪れてゆくといふ美しいものです（定價六十五錢東京日本橋本銀町三丁目二番地啓成社）

▲活ける宗教（境野黃洋著）著者が限りなき渇仰と限りなき崇敬を捧ぐる高僧偉人の人格と其の實驗せし内的生活との上にかける宗教を語らんと試みしものにて聖德太子傳教大師、弘法大師を始め六高僧の教理思想を評論せしものにて宗教家は勿論史家の一讀を要すべき好著なり（東京小石川區原町六午出版社一圓）

▲古今辭世集（飯田一歡著）本書は古今の偉人傑士數百名の辭世を收集したるものにて當世一服の清涼劑たるのみならず家庭的の好讀物なり（東京麴町區有樂町一の四實業之世界社七十錢）

▲ウヰンドー・バツク（創刊號）近頃商業界の一大秘訣として飾窓の研究が盛んになつて來た此の『ウヰンドバツク』も海外の斬新な圖案を紹介し又各種の創作を提供して各方面の裝飾を助けヒントを與へん目的で今度創刊されたものである、街上衆目の視線を集むる裝飾圖案を毎月四五枚づゝ配附する組織で一箇月定價は金八十錢である（東京神田錦町三丁目十六ウヰンドーバツク發行所）

大阪株式特電

[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

▲後場保合　[illegible]

▲本日の現物界　[illegible]

消化と毒けし

仁丹

御大典の祝賀宴會の時

仁丹　御用意あれ

金言　德を行ふべき餘地は常に存す―（セチカ）

男の子の髪にも　女の子の髪にも

髪を黒く……しなやかにし

不思議に髪の艶を增す

日本名物

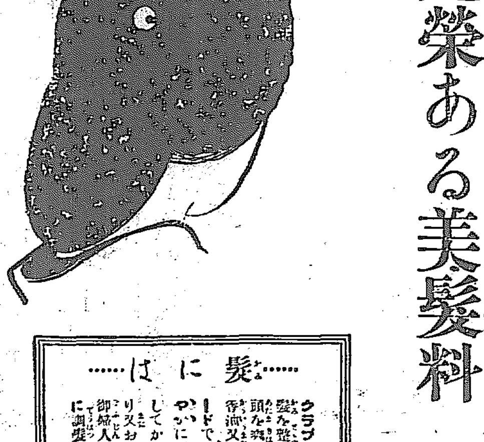
クラブ香油は

宮内省御買上
皇后宮職御用
李公家御買上
の光榮ある美髪料

特長

原料と

日本名物クラブ香油は極上の椿油、山茶花油、扁桃油、橄欖油等を主要な原料とし更に髪の營養になる藥劑と貴重な香料とを加へて謹製した天下一品の香油で髪の光澤を增し發育を助け切毛拔毛を防ぎフケを除るに卓効あるのみならず何とも云へぬ床しい薫りは最も貴婦人紳士の御嗜好に適し近來各地共非常な賣行きであります



髪には……

クラブキニーネで髪を整へフケを取り頭を爽かにしクラブ香油又はクラブポマードで更に髪を美しく艶やかにしてからお結ひになり又お分けになれば御婦人も紳士も自由に調髪が出來ます

急告

●黴毒専門藥唯一丸

黴毒胎毒横根痳瘡りよまちす等の症毒より來る病毒は黴菌を滅すると共に安全に體内より驅除すべき靈藥により其目的を達す現今梅毒藥甚だ多く中に胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特効を併有するは梅毒唯一丸なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ

[illegible]

●全國有名藥店にて販賣せり

梅毒養生法無代進呈送料四錢

發賣元　東京市牛込區神樂坂上　中西藥局　振替東京千五百番

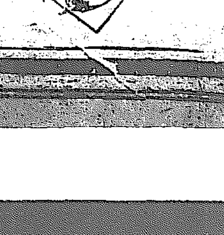
國産

煙草代用

森永ミルクキャラメル

「安心して食べられる菓子」

ニセモノに御注意の上此商標ある森永ミルクキャラメルの御愛用を乞ふ



ポケット入　大金十錢　小金五錢

東京　大阪　森永製菓株式會社

池田季雄

イケダ小兒病内科醫院

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目

電話（醫院一二三四番　自宅八八〇番）

金牌受領

上酒壹升に付四拾錢

卸賣は特に割引可致候

清酒美淋燒酎釀造元

京城櫻井町一丁目　電話番七十七番

中井酒造場